

はじめに

岐阜県博物館は昭和51年5月に開館して以来、平成21年度で開館33年目を迎えます。この間、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にして、調査研究・資料収集・保管・展示するということで県民に親しまれ、「心の宝物」を増やしてきました。国公立を問わず難題が山積する状況の博物館ですが、平成20年6月に博物館法が改正されましたように、新しい博物館の在り方そのものが問われています。当博物館もいっそう時代の変化に対応した、県立博物館ならではの特色ある運営や活動が求められています。かつてない厳しい県財政状況ですが、「不易」である博物館の使命を十分に踏まえて、これからも県民とともに歩む博物館として県民のニーズに合った「流行」を取り入れ、学校教育や生涯学習等の場として皆様にご利用いただけるよう一層の充実を図っていきたくと考えております。

さて、平成20年度は、特別展1回、資料紹介展等4回、マイミュージアムギャラリー展示7回を実施しました。特別展「骨のあるやつ」(9/19～11/16)では、動物の骨格標本を約300点展示して、いろいろな動物の骨格をみることで進化の中で獲得した形の不思議さや美しさを味わっていただきました。このほか、図録の発行や関連催事として「講演会」(2回)、「骨のお絵かきー牛君をかこうー」、「食べた魚を骨にしよう」を開催しました。

また、資料紹介展等として、「ぎふの旅いまむかし～街道・交通・観光名所～」(4/26～6/22)、「三葉虫の謎～立松コレクション～」(7/5～8/31)、「発掘された飛騨・美濃の歴史(財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター発掘速報展)」(11/18～1/12)、「岐阜県のやきもの」(1/24～3/22)を開催しました。さらには、平成20年度から教育普及活動の一環として郷土学習室に「わくわく体験コーナー」を設け、来館者の多い土・日・祝日等には当館職員と交流する機会をつくり、多くのご来館の皆様楽しんでいただきました。

平成21年度では、特別展として文楽の成立ちと芸能としての魅力を分かりやすく紹介する「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」を開催し、文楽教室で文楽に生で触れていただける内容が企画されています。資料紹介展としては、「養老のお坊さんが絵を描いた！ー博物画と標本による江戸の生物ー」、「TORIDAS～それは鳥です～」、「ラジオ少年の見た夢～真空管から新幹線へ～」、「長良川のあるくらし～遺跡は語る～」、日本自然科学写真協会写真展「自然を楽しむ科学の眼」を企画しています。このほか、本年度もマイミュージアムギャラリーの展示(7回)、カルチャー講座、たのしい博物館、特別行事、わくわく体験コーナーなど、広く県民の皆様楽しんでいただける催し物を多数計画しています。

ここに、平成20年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報第32号」を刊行しました。ご高覧いただき、当館のさらなる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年4月1日

岐阜県博物館長 浅野裕司

目 次

はじめに	1
I 博物館概要	
○設置目的	3
○基本的性格と方針	3
○沿革・歴代館長	4
○施設・設備	6
II 平成20年度のあゆみ	
○組織	8
○日誌抄	9
○博物館協議会	9
○実施事業の概要	10
○特別展	
□「骨のあるやつ」	11
○資料紹介展	
□資料紹介展1「ぎふの旅いまむかし～街道・交通・観光名所～」	12
□資料紹介展2「三葉虫の謎～立松コレクション～」	13
□資料紹介展3「岐阜県のやきもの」	14
○財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター発掘速報展 「発掘された飛驒・美濃の歴史」	15
○マイミュージアムギャラリー	16
○調査研究・資料収集活動	
□人文部門	18
□自然部門	20
□マイ・ミュージアム部門	22
○教育普及活動	24
○利用状況	31
○博物館関係団体	32
III 利用案内（平成21年度）	34

I 博物館概要

〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

〔基本的性格と方針〕

1 基本的性格

- ・岐阜県の人文(考古、歴史、民俗、美術工芸)、自然(動物、植物、地学)等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発させるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能の充実化を推進する。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

2 基本方針

(1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、総合展示と課題展示とし、それぞれ人文、自然の2部門に分ける。総合展示は、誰にも親しめるような平易な展示を心掛け、本県の歴史や社会、文化の発展の概要と、自然環境の概要を理解しやすく展示する。課題展示は、テーマに沿って展示するが、内容において、前者よりやや高度なものとする。

企画展示は、特定の企画とテーマを設けて、展示をする。

展示は以下のものとする。

- ① 生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
- ② 資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示

- ③ 各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ④ できる限り実物資料の展示とするが、更に図表、模型等他種類の資料も活用した展示
- ⑤ できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ⑥ 視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ⑦ 解説が明確で分かりやすい展示

各展示室の主題と内容は、次のとおりである。

○人文展示室1(人文総合展示)

主題「郷土のあゆみ」・・・先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を分かりやすく展示する。

○人文展示室2(人文課題展示)

主題「郷土の民俗と美術工芸」・・・特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。

○自然展示室1(自然総合展示)

主題「郷土の自然とおいたち」・・・郷土の自然の概要を生態的に分かりやすく展示する。

○自然展示室2(自然課題展示)

主題「郷土のさまざまな自然」・・・特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

○特別展示室(特別展示)

特定のテーマを設けて年に数回展示する。

(3) 調査研究

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示系や博物館資料に関連した教育・普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。

〔沿革〕

昭和46年	3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	昭和59年	4月	覚者」 特別展「濃飛の戦国武将」	10月	置県120年・岐阜鹿兒島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島～その自然と歴史～」				
	4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置		7月	特別展「ふるさとの昆虫」		11月	入館者140万人を突破			
	6～9月	博物館懇談会を設ける		8月	入館者90万人を突破	平成	4年	3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申		
昭和47年	4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	昭和60年	4月	特別展「濃飛の蘭学」			4月	特別展「飛驒のあけぼの～交流する縄文・古代人～」		
昭和48年	8月	起上式挙行		7月	特別展「鉱物の世界」			7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」		
昭和49年	3月	展示実施計画樹立		10月	特別展「美濃の刀剣」			10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」		
	10月	定礎式	昭和61年	12月	自然展示室2を改装			11月	小中学生常設展入館料無料化		
昭和50年	3月	展示工事着手		4月	特別展「徳山の四季とくらし」	平成	5年	3月	入館者150万人を突破		
	7月	本館建築竣工		7月	特別展「奥飛驒の自然」			4月	特別展「土と炎の芸術」		
昭和51年	1月	展示工事完了		9月	人文展示室1を改装			9月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘		
	4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了		10月	開館10周年記念式典を挙行			10月	特別展「失われゆく植物」		
	5月	開館記念式典挙行 一般公開	昭和62年	4月	特別展「飛驒の弥生時代」	平成	6年	1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式		
		「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」			3月	大型ほ乳類足跡化石を展示		
	7月	皇太子・同妃殿下行啓		10月	特別展「飛驒の匠」			4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」		
	8月	特別展「ふるさとの文楽」			旧徳山村民家移築復元			8月	恐竜の歯等荘川村で発見		
	10月	入館料徴収開始	昭和63年	1月	自然展示室1を改装			9月	特別展「美濃山地の自然」		
	11月	特別展「熊谷守一展」		4月	特別展示室ショーケース改修			10月	入館者160万人を突破		
昭和52年	5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」		7月	特別展「ふるさとの湿原」	平成	元年	4月	特別展「濃飛の古墳時代」		
		人館者20万人を突破			中部未来博'88記念展「中山道～美濃十六宿～」			7月	特別展「ふるさとの野鳥」		
	7月	特別展「郷土の化石展」		10月	特別展「中生代の化石」			8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見		
	11月	特別展「鉄斎」			入館者120万人を突破			10月	特別展「移ろいゆく年中行事」		
昭和53年	4月	入館者30万人を突破		平成	元年	4月		11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける		
	7月	特別展「濃飛の甲冑」			特別展「濃飛の古墳時代」	平成	2年	4月	特別展「輪中と治水」		
	7月	特別展「世界のコガネムシ」			特別展「ふるさとの野鳥」			7月	特別展「白山の自然」		
	10月	特別展「能面と装束」			16日恐竜足跡化石白川村で発見				「恐竜足跡化石レプリカ除幕式グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）」		
昭和54年	4月	入館者40万人を突破			特別展「濃飛の先史時代」			平成	7年	3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編」ソフト完成
		特別展「濃飛の先史時代」			特別展「世界の貝」			4月	特別展「岐阜の淡水魚」		
	7月	特別展「世界の貝」			特別展「濃飛の文人」			7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行		
	10月	特別展「濃飛の文人」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設			8月	恐竜セミナー「GIFU'95開催」		
昭和55年	4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設			10月	特別展「美濃・飛驒の古代史発掘～律令国家の時代～」		
	5月	入館者50万人を突破			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設				人定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）		
	7月	特別展「化石の世界」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設				県下第1号として「マルチメディア工房・ぎふ」開設		
	10月	特別展「蓑虫山人」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設				円空シンポジウム「世界における円空」		
昭和56年	4月	特別展「美濃の絵馬」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設			平成	8年	4月	高校生常設展入館料無料化
	5月	入館者60万人を突破			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設			5月	入館者170万人を突破		
	7月	特別展「御岳山は生きている」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
	10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
昭和57年	4月	特別展「高賀山の信仰」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
		入館者70万人を突破			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
	7月	特別展「ふるさとの植物」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
	10月	特別展「東洋の貨幣」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
昭和58年	4月	特別展「岐阜県の考古遺物」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
	5月	入館者80万人を突破			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
	7月	特別展「長良川」			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						
	10月	特別展「郷土の生んだ先			祝賀誌特号（触縁）コーナー開設						

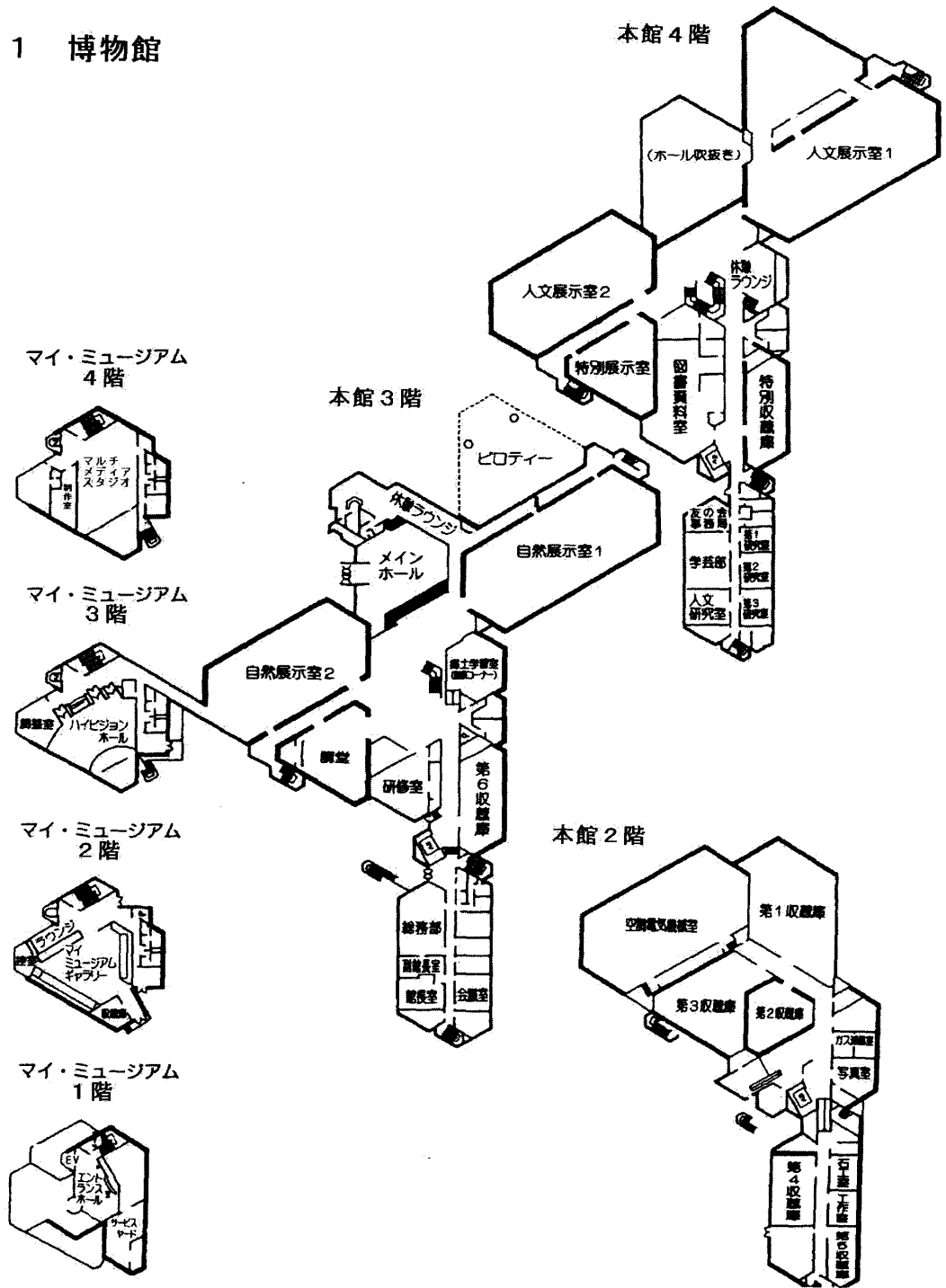
	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」			「円空展～魂を木に刻んで～」		9月	特別展『水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～	
	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行	平成12年	7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」		平成18年	4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」
	10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」		9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」		5月	開館30周年記念植樹	
	11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏		11月	入館者200万人を突破				
平成9年	3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成	平成13年	7月	特別展「あのごろいた鳥～そういえばトキもおつたげな～」		8月	入館者240万人を突破 飛騨美濃合併 130周年記念行事博物館1日無料開放	
	4月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」		9月	特別展「七代目村十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」		9月	飛騨美濃合併 130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」	
	9月	特別展「薬草のふるさと伊吹」		11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」 (マイミュージアムギャラリー)		11月	文化の日博物館無料開放	
	11月	入館者180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」 財団法人日本博物館協会表彰	平成14年	2月	全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001 グランプリ受賞	平成19年	7月	特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」	
平成10年	3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示		3月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成		9月	特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」	
	4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」		4月	バリアフリー対策事業小型モノレール（スロープカー）完成		10月	入館者250万人を突破	
	7月	特別展「つものつかぶとむし」		4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	平成20年	5月	文化の日博物館無料開放 日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」 3,800冊の寄贈を受ける	
	9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」		5月	入館者210万人を突破		9月	特別展「骨のあるやつ」	
平成11年	7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」 入館者190万人を突破	平成15年	7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心に～」		11月	文化の日博物館無料開放	
	9月	特別展「恐竜時代」入館者4万人突破		9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」				
	10月	特別展「水とまつり～古代人の祈り～」特別陳列	平成16年	7月	入館者220万人を突破 特別展「タイムラベル石器時代～大昔はどことなくらしをしていたの？～」				
				9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオタカびゅん～」				
			平成17年	4月	高校生以下入館料年間無料化（特別展入館料無料化）				
				5月	入館者230万人を突破				
				7月	特別展「線路はつづくよ				

歴代館長名簿

	在職期間（年度）	氏名		在職期間（年度）	氏名
1	昭和51年	小幡 忠 良	10	平成5年～平成6年	横山 勢津男
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克 美	11	平成7年～平成8年	清水 廣 美
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔	12	平成9年～平成10年	高田 晃
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹 彦	13	平成11年～平成12年	遠藤 祐 神
5	昭和59年	関谷 美智男	14	平成13年～平成14年	高橋 宏 之
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照 夫	15	平成15年～平成16年	武山 栞 司
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利 光	16	平成17年	下畑 五 夫
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀 幸	17	平成18年	古川 和 明
9	平成3年～平成4年	篠田 幸 男	18	平成19年～平成20年	高屋 一 行

〔施設・設備〕

1 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー	202.3
	自然展示室2	478.8			
	郷土学習室	95.4			
	講堂	174.5			
	蔵庫	25.3			
4階	人文展示室1	942.3	3階	ハイビジョンホール	192.3
	人文展示室2	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
4階	人文展示室1	942.3	4階	マルチメディアスタジオ	206.3
	人文展示室2	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
				制作室	31.2
				応接室	43.8

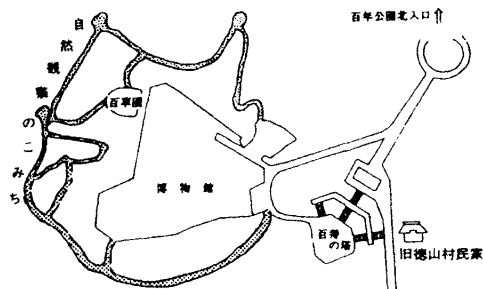
2 館外施設

(1) 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が3か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

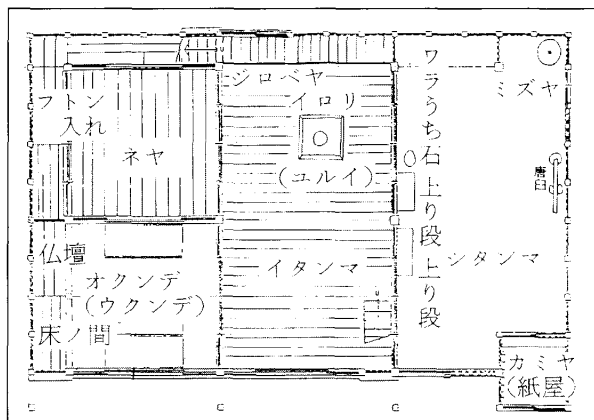
なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。



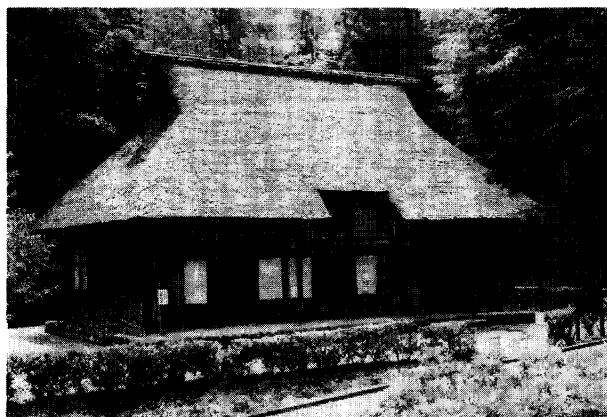
(2) 旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成13年9月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

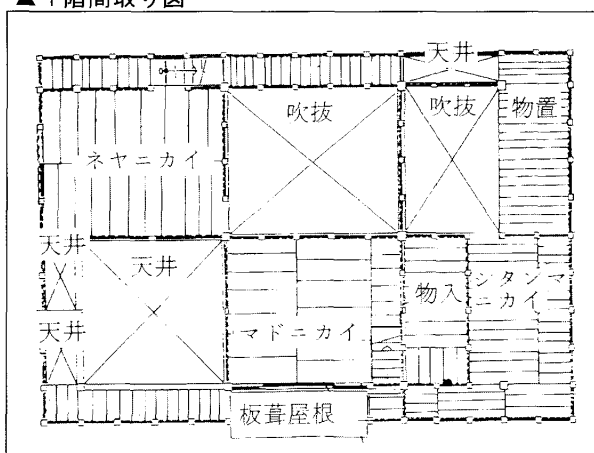
- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図



旧徳山村民家

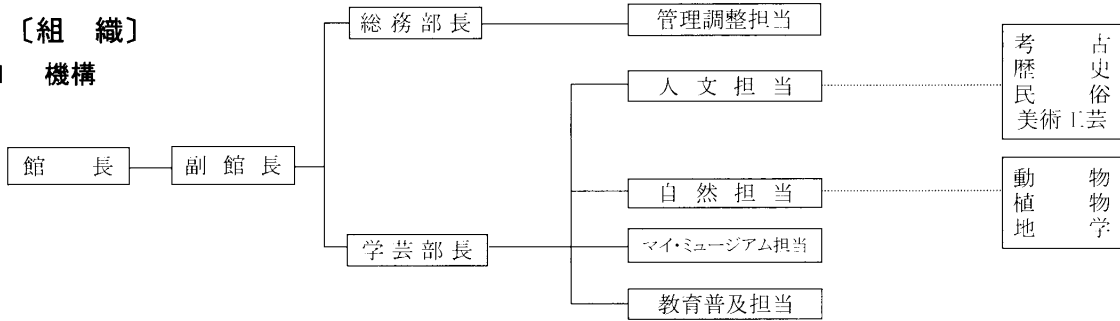


▲ 2階間取り図

II 平成20年度のあゆみ

〔組織〕

1 機構



2 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	高屋一行	【学芸部】		[マイ・ミュージアム担当]	
副館長	佐藤真治	学芸部長	石田克	課長補佐	浦崎太郎
【総務部】		[人文担当]		"	山田暁男
総務部長	臼井明	課長補佐	坂口浩之	(兼)"	加藤信男
[管理調整担当]		"(歴史)	山田昭彦	[教育普及担当]	
課長補佐	林隆	"(民俗)	山田政春	課長補佐	和田久司
主査	井上充	(兼)"(考古)	長屋幸二	"	竹村宗近
"	山田美樹	主任(美術工芸)	守屋靖裕	学芸業務専門職	北野憲弘
"	村山朋子	[自然担当]		"	山本義明
管理業務専門職	纈纈ひとみ	課長補佐	池上尚		
"	西部真由美	"(植物)	千藤克彦		
"	小泉あゆみ	"(地学)	西谷徹		
"	米田美里	主査(動物)	説田健一		
"	岡友恵	学芸業務専門職(古生物)	桂嘉志浩		
"	江崎絢子				
日日雇用職員	生駒玲子				

3 異動

転出者	学芸部長	前田伸	転入者	副館長	佐藤真治
	課長補佐	若尾泰明		学芸部長	石田克
	"	所輝一		課長補佐	山田昭彦
	主査	藤吉正樹		"	加藤信男
退職者	副館長	中島正和		主査	山田美樹
	専門相談役	松尾弘之助		学芸業務推進職	山本義明
	学芸業務推進職	富田幸八		管理業務推進職	江崎絢子
	管理業務推進職	河田知香			

〔日誌抄〕

- 4. 1 人事異動に伴う辞令交付
- 1 MMG「木の生命～彫刻家のとらえた形～」(～5/6)
- 13 ギフチョウを観察しよう
- 16 里山ウォッチング
- 26 資料紹介展「ぎふの旅いまむかし」(～6/22)
- 5. 3 化石のレプリカをつくろう
- 4 春のグリーンアドベンチャー
- 5 まが玉をつくろう
- 8 『博物館展示案内』知事贈呈式
- 10 社会人のための準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座①(～5/11)
- 18 MMG「矢立～そのアイデアと装飾の美～」(～6/22)
- 18 初夏のバードウォッチング
- 21 里山ウォッチング
- 25 初夏の小川で魚捕り(雨天中止)
- 6. 1 化石をみがいてペーパーウェイトをつくろう
- 5 博物館活用講座「五感を活用した自然観察の方法」
- 6 博物館活用講座「石器づくり・火おこし体験のツボ」
- 15 楽しい折り紙教室
- 18 里山ウォッチング
- 21 親子で博物館探検
- 22 魚の捕り方教えます～ビオトープの魚調べ～(雨天中止)
- 29 小鳥の骨の標本をつくろう1日目
- 7. 5 資料紹介展「三葉虫の謎～立松コレクション～」(～8/31)
- 6 MMG「なつとも60年～子どものころの夏休み～」(～8/3)
- 6 小鳥の骨の標本をつくろう2日目
- 13 植物標本の作り方教室1日目
- 16 里山ウォッチング
- 19 三葉虫を調べよう
- 20 植物標本の作り方教室2日目
- 21 木の動くおもちゃづくり(恐竜)
- 26 化石のレプリカをつくろう
- 27 夏の友を持ってあつまろう
- 27 江戸時代のおもちゃをつくってみよう(紙つばめ)
- 8. 2 岐阜県物知り博士になろう
- 2 ナイトウォッチング
- 3 火おこし器をつくろう
- 9 社会人のための準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座②(～8/10)
- 10 MMG「1/80の鉄道の世界～甦るあの懐かしい鉄道～」(～9/15)
- 10 実演「鉄道模型の組み立て」
- 16 化石のレプリカをつくろう
- 17 実演「鉄道模型の組み立て」
- 20 里山ウォッチング
- 23 江戸時代のおもちゃをつくってみよう(紙つばめ)
- 24 実演「鉄道模型の組み立て」
- 31 実演「鉄道模型の組み立て」
- 9. 7 まが玉をつくろう
- 7 実演「鉄道模型の組み立て」
- 14 実演「鉄道模型の組み立て」
- 17 里山ウォッチング
- 19 特別展「骨のあるやつ」(～11/16)
- 21 昭和のおもちゃをつくろう(日光写真)
- 28 MMG「中村久子女史の世界～人生に絶望なし～」(～11/3)
- 28 特別展講演会「プロの技…剥製師のお仕事」
- 10. 4 トーク&コンサート「両手両足のない中村久子の一生」
- 5 骨のお絵かきー牛君をかこうー
- 11 木の実で遊ぼう
- 12 昭和のおもちゃをつくろう(日光写真)
- 13 講演会「母・中村久子語る」
- 15 里山ウォッチング
- 19 講演会「中村久子女史の世界」
- 26 食べた魚を骨にしよう
- 11. 2 特別展講演会「野生動物救護～はじめの一步～」
- 3 博物館無料開放日
- 3 里山オリエンテーリング
- 3 来館者アンケート調査(因子分析)
- 9 岐阜の歴史講座「貴族になった豊田秀吉」
- 16 徳山のくらしを体験しよう
- 16 MMG「風俗玉手箱「印判手」の世界～明治・大正・昭和の風俗～」(～12/14)
- 18 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター発掘速報展「発掘された飛騨・美濃の歴史」～H21.1/12)
- 19 里山ウォッチング
- 29 講演会「古代美濃の国と税制」
- 12. 6 まが玉をつくろう
- 7 カブトムシの幼虫をさがそう
- 14 和風をつくろう(立体風)
- 17 里山ウォッチング
- 21 わら細工～しめ飾りをつくろう～
- 1. 6 春の七草ウォッチング
- 7 七草がゆを食べよう
- 18 親子で博物館探検
- 24 資料紹介展「岐阜県のやきもの」(～3/22)
- 28 里山ウォッチング
- 2. 1 冬のバードウォッチング
- 18 里山ウォッチング
- 22 昭和のくらしを体験しよう
- 3. 8 早春のコンサートinミュージアム～春の音楽を生演奏で～
- 15 親子で博物館探検
- 18 里山ウォッチング
- 20 講演「岐阜のほとけたち」平成20年度版

(MMG:マイミュージアムギャラリーの展示)

〔博物館協議会〕

当協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関として、岐阜県博物館条例(昭和51年)第2条及び第3条の規定に基づいて設置され、委員は次のとおりである。

氏名	現職名
岩田 永子	岐阜県PTA連合会母親委員代表
遠藤 景子	NHK岐阜放送局長
片岡 学史	岐阜放送放送業務本部・副本部長兼報道部長
金森 昭夫	中日新聞岐阜支社長
占屋 康則	岐阜大学教育学部准教授(生理生態学)
近藤 栄美子	岐阜県小中学校長会代表、本巣市立席田小学校長
鈴木 専英	岐阜県博物館友の会副会長
玉井 博祐	(名)玉井屋本舗 代表社員
名和 哲夫	名和昆虫博物館長、岐阜県博物館協会副会長
◎早川 万年	岐阜大学教育学部教授(歴史学)
平井 花画	岐阜県ユネスコ協会会長
安田 たか子	学校法人安田学園虹ヶ丘幼稚園長

(開催状況)

月 日 平成20年11月14日
 場 所 岐阜県博物館 講 堂
 議 題 ・今後の博物館の在り方について
 ・平成21・22年度の特別展等について

◎会長 (平成20年11月14日現在 五十音別)

任期は平成20年 9月24日～平成22年 9月23日

〔実施事業の概要〕

「夢が育ち、感動が体験できる博物館をめざして」を平成20年度方針として、特別展や資料紹介展などの企画展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。その他、参加体験型の教育普及事業として77本の催事、学芸員による小中学校への出前授業など多くの事業を展開した。

開館32年目を迎え、以前から大きな課題となっている施設・設備の老朽化とそれに伴う各種機器類の不調、展示室や収蔵庫の狭隘化等の改修計画の進展はなかった。しかし、近年、全国的に博物館を取り巻く情勢の変化は大きく、博物館法の改正もあり、当館においても館の在り方、将来構想に向けて館外のご意見を伺いながら、議論を深めた。

1 調査研究事業

人文分野では、岐阜県内の仏像や、遺物・遺跡の調査研究を行った。自然分野では、モニタリングサイト1000里地調査を開始、ウシモツゴ保護に関する調査、岐阜県植物誌刊行に向けての調査研究、百年公園の生物相調査、手取層群の化石調査などを行った。科研費による研究課題「子どもの科学的表現を高める環境学習プログラムの作成―自然のパターン把握を通して―」の研究協力者として2年目を迎えた。また、下呂石研究会を発足させ、

外部との協働で、人文自然の両分野からのアプローチを行う研究を開始した。

2 展示活動

特別展・資料紹介展などを下表のとおり実施した。

3 資料収集活動

人文分野では、旧徳山村に係わる増山たづ子氏撮影写真パネルの寄贈を受けた。自然分野では、動物の骨格標本、はく製標本及び植物レプリカを委託作成した。また、県内植物標本、県内動物標本などの資料の寄贈を受けた。

4 教育普及活動

学校との連携では、事前打合せを確実にを行い、団体入館の充実を図った。また学校への出前授業や教員研修会への講師派遣を多く行った。

今年度より、郷土学習室を会場として土・日・祝日・夏休み相当日に、「わくわく体験コーナー」を開設し、さまざまなメニューを用意して、来館者と職員の交流の場とし、好評を博した。

また、ホームページの改修を行い、ぎふポータルを利用したネットによる催しもの参加受付を開始した。ハイパーハイビジョン風土記はデジタル化を行った。今後はコンピュータによる活用を図る予定である。

展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入 館 者 数
常設展	年 間	人文関係では人文展示室1及び2の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを約30回行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えに努めた。自然関係では自然展示室2の可変展示コーナーや独立ケース内を中心に約10回の展示替えを行った。また、人文展示室1と自然展示室1で下呂石に関して統一テーマで展示を行った。	—
特別展「骨のあるやつ」	9/19(金) ～11/16(日)	無顎類から始まった脊椎動物は海から陸上空中での生活を獲得した。こうした脊椎動物の進化をたどりながら、いろいろな動物の骨格を紹介し、進化の中で獲得した形の不思議や美しさを楽しみながら、多様な生物の世界に関心が持てる機会を提供した。	16,666
資料紹介展 「ぎふの旅いまむかし～街道・交通・観光名所～」	4/26(土) ～6/22(日)	徒歩の旅から鉄道・車の旅への移り変わりや岐阜県の観光名所の由来や変遷を紹介した。それによって、庶民の旅という視点から、岐阜県の観光の歩みと魅力にふれることができる場を提供した。	9,984
資料紹介展 「三葉虫の謎～立松コレクション～」	7/5(土) ～8/31(日)	三葉虫化石の収集家として世界的に有名な立松氏の全面的な協力により、多くの貴重な三葉虫化石を紹介し、その不思議な形態と造形美を堪能していただくと共に、生物の多様な進化の謎を考える機会を提供した。	10,125
財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター発掘速報展 「発掘された飛騨・美濃の歴史」	11/18(火) ～21/1/12 (月・祝)	岐阜県教育文化財団文化財保護センターが近年県内で発掘調査を行った成果として、古代の鉄鍛冶工房が発見された高山市野内遺跡をはじめ、郡上市薬師堂遺跡などの発掘成果を紹介した。	3,923
資料紹介展 「岐阜県のやきもの」	21/1/24(土) ～3/22(日)	当館が収蔵している、織部、西浦焼、温故焼、金華山焼など、岐阜県各地で作られたやきものを紹介し、県内のやきもの多種多様さについて実物を通して理解していただく機会とした。	4,707
マイミュージアムギャラリー	(P16参照)	「木の生命～彫刻家のとらえた形～」を始め7回の展示会を実施した。	—

〔特別展〕

—平成20年度特別展—

1 展覧会名称

「骨のあるやつ」

2 開催期間

平成20年9月19日（金）～11月16日（日）

3 趣旨

骨は海賊の髑髏マークやタロットの死神のように死を象徴し、怖くて不気味なもの代名詞である。一方、私たちの食卓には、アジの干物や手羽先など骨を持つ動物が食材として並び、骨はとても身近な存在でもある。そして、私たちヒトもアジやニワトリと同じように骨を持つ脊椎動物のなかまである。

現在、脊椎動物のなかまは約5万種類が知られている。化石として完全な形で見つかった最初の脊椎動物は約4億7千万年前の顎を持たない動物である。その後、脊椎動物は顎を獲得し、効率よく餌を摂ることが可能となり、四肢の進化にともない、陸上や空中での生活を獲得した。

今回の特別展では、こうした脊椎動物の進化をたどりながら、いろいろな動物の骨格を紹介した。進化の中で獲得した形の不思議や美しさを楽しみながら、多様な生物の世界に関心を持っていただくことをねらいとした。



展示会場の様子

4 展示構成

- (1) 骨のイメージ
- (2) 食卓の骨
- (3) ペットと家畜
- (4) 骨の動物園
- (5) 進化のしるし
 - ・魚とは
 - ・陸へあがる
 - ・へびの足
 - ・箱の中の骨

- ・歯のかたち
- ・足のかたち
- ・空を飛ぶために

(6) 骨が大好き！！

- ・吐き戻しを調べる
- ・遺跡で見つかる骨
- ・海岸で骨を拾う
- ・骨格をつくろう

(7) その他

- ・病気やけがの骨
- ・おちんちんの骨
- ・オスの角
- ・触察展示



体験コーナーの様子

5 関連事業

- ・特別展講演会「プロの技・・・剥製師のお仕事」
講師：内田 昇（東京内田科学社・剥製師）
- ・骨のお絵かきー牛君をかこうー
講師：小島 綾子（日展会友）
- ・食べた魚を骨にしよう
講師：当館学芸員
- ・特別展講演会「野生生物救護～はじめての一步～」
講師：浅野 玄（岐阜大学応用生物科学部）



骨のお絵かきー牛君をかこうー

〔資料紹介展〕

一 資料紹介展 1 -

1 展覧会名称

「ぎふの旅いまむかし～街道・交通・観光名所～」

2 開催期間

平成20年4月26日（土）～6月22日（日）

3 趣旨

本展では、徒歩の旅から鉄道・車の旅への移り変わり
と岐阜県内の観光名所の由来や変遷を紹介した。

庶民の娯楽としての旅は、江戸時代後期から盛んにな
ったと考えられる。街道の宿場を描いた歌川広重の錦絵
や、名所旧跡の案内として刊行された絵図や冊子、旅人
が携帯した道中記や旅道具などから、街道を歩いて旅し
た当時の社会や人々の様子をうかがうことができる。

明治時代以降、鉄道や車の発達とともに庶民の旅も大
きな変化を遂げた。観光案内の鳥瞰図や絵はがきなどか
ら、昔ながらの名所旧跡に加え新たな観光地が開発され
脚光を浴びるようになったことがわかる。なかでも、吉
田初三郎らの描いた鳥瞰図は、各地の観光名所を周辺の
地理や自然、鉄道網とともにわかりやすく伝えている。

以上のように、庶民の旅という視点から、岐阜県の観
光の歩みをたどりつつ、その魅力の掘り起こしに努めた。



展示会場の様子

4 展示構成

第1部を徒歩の旅、第2部を鉄道・車の旅とする二部構
成で展示した。第1部では街道や宿場の様子と美濃飛騨
の名所旧跡を紹介し、第2部では鉄道などの新しい交通
機関を利用した旅の様子と県内の観光名所を紹介した。

旅は、交通手段の発達にともない、移動時間の短縮の
みならず、時代のニーズに合った新たな観光開発が促進
され旅の楽しみが多様化していった。

この展示では、このような、いとむかしの旅の文化
の違いに留意した構成を意図した。本展では、歌川広重
や葛飾北斎らの錦絵や吉田初三郎らの鳥瞰図をはじめ、
初公開の観光案内や絵はがきなどを含む約80点の旅に関
係する資料を展示した。

(1) 徒歩の旅

① 徒歩の旅 絵図や錦絵などにより、江戸時代の徒
歩を中心とした旅の紹介

主な資料 絵図（尾州濃州国図） 錦絵（木曾海
道六拾九次之内 御嶽／木曾海道六拾
九次之内 伏見） 冊子（木曾路名所
図会） 旅の道具（東海木曾両道中懐
宝図鑑／早道） 他

② 美濃・飛騨の名所旧跡 絵図や名所旧跡図などに
より、当時の人々が訪れた名所旧跡の
紹介

主な資料 錦絵（諸国名所百景 飛騨の竜渡し／
岐阜路ノ駅 河渡 長柄川鶴飼船）
名所旧跡図（美濃国養老公園全形絵図）
巡礼絵図（谷汲山華嚴寺山内図） 他

(2) 鉄道・車の旅

① 鉄道・車の旅 観光案内や鳥瞰図などにより、明
治時代以降に発達した鉄道・車を利用
した旅の紹介

主な資料 鳥瞰図（中央日本豪華鳥瞰図／岐阜県
中部日本観光鳥瞰図） 双六（鉄道競
争双六） 冊子（鉄道旅行案内） 他

② 岐阜県の観光名所 観光案内や絵はがきなどに
より、交通の発達とともに開発された岐
阜県の観光名所の紹介

主な資料：観光案内（世界一景岐阜長良川鶴飼図
／下呂温泉／ライン下りは太田からラ
イン探勝案内／恵那峡の舟遊） 絵はが
き（各観光名所） 他

(3) 体験コーナー

- ① 「駕籠」の乗車体験
- ② 「新板木曾海道廻双六」の双六遊び

(4) 映像コーナー

- ① 「岐阜県内の観光名所」を映像で上映
- ② 「美濃十六宿」映像を紹介

—資料紹介展2—

1 展覧会名称

「三葉虫の謎 ～立松コレクション～」

2 開催期間

平成20年7月5日(土)～8月31日(日)

3 趣旨

およそ5億4000万年前の古生代カンブリア紀、多くの生命が爆発的に誕生した。三葉虫もこのとき生まれ、他をしのぐ勢いで著しい分化を遂げ、古生代を代表する動物になった。硬い外骨格を持ち、中には優れた光学系を備えた目をもつ種類もいた。古生代の終わり頃に、他の多くの生物とともに絶滅するまでの間、三葉虫は地球上に生息し続けた。はたして三葉虫とはどのような生きものだったのか。その生態や進化の過程は未だに多くの謎にまつまれている。

三葉虫は最も古い化石生物の一つであり、姿形が珍しいうえ美しく、しかも多様性に富んでいるため、世界には専門の研究者ばかりでなく、アマチュアの収集家や研究者も少なくない。今回の資料紹介展では、世界的に有名な三葉虫の収集家である立松正衛氏の全面的な協力を得て、多くの貴重な三葉虫化石を紹介した。三葉虫の多様な形態と芸術的ともいえる造形美を堪能していただき、生物の多様な進化に興味を持っていただくことを目的とした。

4 展示構成

およそ3億年もの長い間、地球上で生息し続けた三葉虫。化石として発見されているだけでもその種類は1,500属、10,000種にのぼる。古生代の海に生きた三葉虫が多様な形態へと分化していくようすを、豊富な三葉虫化石で展示紹介した。

また、多くの研究者によって三葉虫の興味深い生態と進化の謎が少しずつ解き明かされてきた。三葉虫はどのような生活をしてきたのか、そしてどのような工夫をして生き抜いてきたのか。三葉虫が獲得していった興味深い特徴を紹介した。

(1) 三葉虫の多様な姿(系統と分類)

およそ3億年もの長い間、生き続けた三葉虫。はたしてどんな三葉虫がいたのか。立松氏の素晴らしいコレクションの中から、多様な三葉虫の数々を展示紹介した。

(2) 三葉虫の生きた海(ジオラマ)

古生代の海に生きた三葉虫。はたして三葉虫はどのような海で繁栄と衰退の道をたどったのか。古生代の海底のようすを化石やレプリカを使って再現した。

(3) 三葉虫の仲間たち(現生動物との比較)

三葉虫はどのような生きものに近いのか。今に生きる動物たちに仲間を探すことを目指した。

(4) 三葉虫のからだのつくり

古生代初期に大繁栄した三葉虫。そんな三葉虫の不思議で驚くべきからだのつくりを紹介した。

(5) 三葉虫の生態

三葉虫は古生代の海底で、どのような生活して、どのように成長していったのか。化石をもとに考えてみた。

(6) 天敵から身を守る!

古生代の海には三葉虫の敵がいっぱい。そんな厳しい環境を生き抜くために、三葉虫はどのような方法で身を守ったのか。その防御方法を紹介した。

(7) 「見て、触って、感じて『三葉虫』」

「見て」「触って」「体験して」三葉虫を感じよう。昨年好評を博した「化石のクリーニング体験」など、今年もいくつかの体験メニューを用意した。



展示会場の様子

5 関連事業

- ・化石教室「三葉虫を調べよう」

講師 大野照文氏(京都大学総合博物館 教授)

- ・「化石のレプリカをつくろう」

講師 当館職員



関連事業「三葉虫を調べよう」の様子

—資料紹介展3—

1 展覧会名称

「岐阜県のやきもの」

2 開催期間

平成21年1月24日（土）～3月22日（日）

3 趣旨

東濃地方の志野や織部をはじめとして、岐阜県では各地でさまざまなやきものが作られた。例えば、西濃の温故焼、岐阜の金華山焼、中濃の安桜焼、東濃の西浦焼、飛驒の洪草焼など、多くの優れた陶磁器が生み出された。

本展では、当館が収蔵（所蔵・寄託・借用）している岐阜県各地のやきものを展示した。県内のやきもの多種多様さについて、実物を通して理解することを主たるねらいとした。個々の陶磁器の優れた造形や特徴なども紹介した。「地域との関係でやきものを見る」という視点を取り入れ、バラエティに富んだ岐阜県のやきもの世界に迫った。

4 展示構成

展示は後述の5部から成る。5部の前後に「はじめに」と「おわりに」を設けた。

(1) はじめに

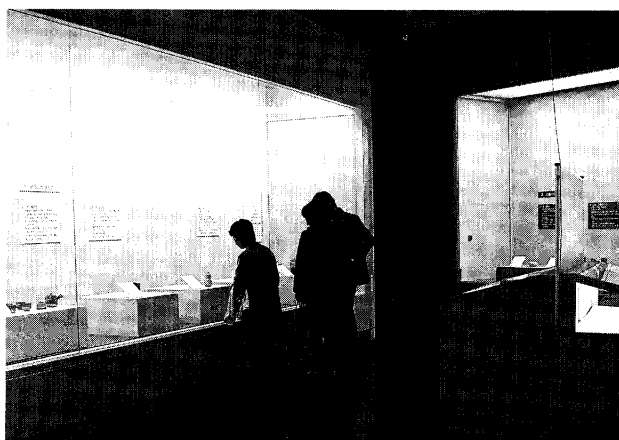
オープニングメッセージを掲示。志野や織部などの美濃桃山陶が高名である一方、その他にも優れたやきものが県内に存在することを述べた。

(2) 1 西濃のやきもの

西濃地方で作られたやきものを紹介。「三島茶碗」（養老焼）（伊東恒生氏蔵）、初代清水温故作「金蒔絵蝶文花生」（温故焼）（当館蔵）などを展示。今尾焼を制作する以前に加藤春岱の作品も、参考展示として出品。

(3) 2 岐阜のやきもの

岐阜地方で作られたやきものを紹介。安藤百曲作「赤



展示会場の様子(1)

楽筒茶碗」（百曲焼）（当館蔵）、福田旭水作「染付鶴飼図茶碗」（金華山焼）（当館蔵）などを展示。美濃須衛古窯跡群出土の坏・高坏（須恵器）も参考展示として出品。

(4) 3 中濃のやきもの

中濃地方で作られたやきものを紹介。「堇図茶碗」（安桜焼）（伊東恒生氏蔵）、加藤友平作「孫六漬容器」（ライン焼）（当館蔵）を展示。

(5) 4 東濃のやきもの

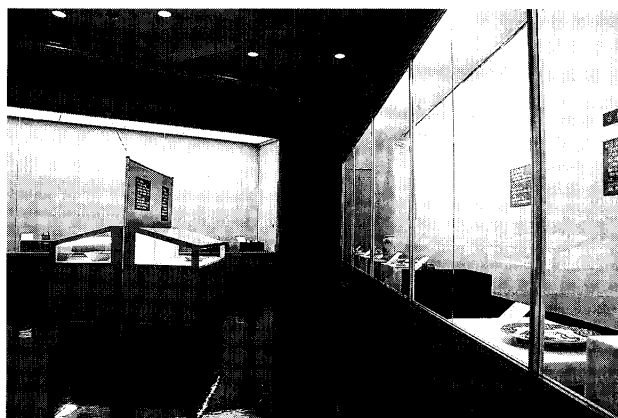
東濃地方で作られたやきものを紹介。「織部四方筒向付」（美濃桃山陶）（当館蔵）、「釉下彩鷲画花瓶」（西浦焼）（当館蔵）などを展示。志野が美濃で作られていたことを実証した荒川豊蔵の作品も、参考展示として出品。

(6) 5 飛驒のやきもの

飛驒地方で作られたやきものを紹介。「赤絵染付梅雉文大皿」（洪草焼）（株式会社芳国舎洪草製陶所代表取締役 松山正和氏蔵）、長倉三朗作「瓶」（小糸焼）（当館蔵）などを展示。

(7) おわりに

立体地図模型に県内のやきものの位置を示した。キーワード「面的偏在」・「量的偏在」により、岐阜県のやきものについて総括を行った。



展示会場の様子(2)

5 関連事業

- ・1月25日（日）、2月1日（日）・11日（水・祝）・15日（日）、3月22日（日）

「展示解説」

- ・1月24日（土）、2月7日（土）・28日（土）、3月14日（土）・21日（土）

「テグスのかけ方実演 — 博物館の地震対策 —」

- ・毎週土・日曜日、2月11日（水・祝）、3月20日（金・祝）

「摺絵体験」

- ・会期中常時

「やきものお絵かき」

1 展覧会名称

発掘された飛騨・美濃の歴史

2 開催期間

平成20年11月18日(火)～平成21年1月12日(月・祝)

3 趣旨

(財)岐阜県教育文化財団文化財保護センターは、県内各地で埋蔵文化財の発掘調査を実施し、郷土の歴史を解明する貴重な成果を得ている。今回は、近年調査・整理を行った4遺跡から選んだ約240点の出土品を展示した。

本展では、遺跡の概要をあますことなく紹介するのではなく、遺跡の特質や意義に焦点を絞って資料選定から展示構成までを行った。特に、今回は一つの遺跡が展示スペースの大半を占めることとなり、速報展というコンセプトの展示にはストーリーを編むことができた。

4 展示構成

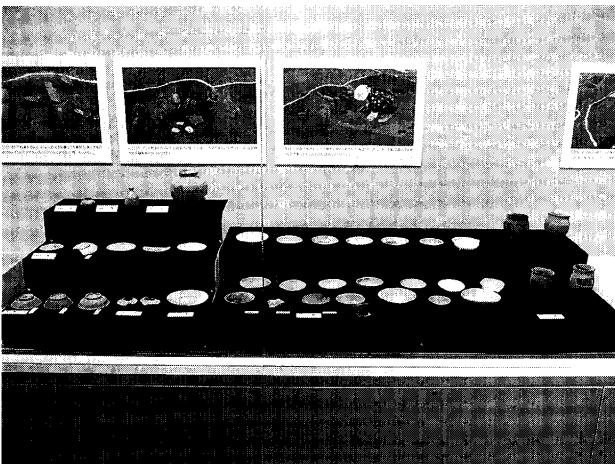
展示のメインとなったのは野内遺跡である。展示スペースの約3分の2を同遺跡の出土品が占め、3分の1のスペースに残り3遺跡の出土品が並んだ。

(1)野内遺跡

高山市野内遺跡では、縄文時代から近世に至る幅広い時代の遺構・遺物が確認されている。この中から、特に古墳時代・平安時代の水田跡で見つかった木製品と、古代の集落跡にスポットを当てた。集落は普通サイズの竪穴住居跡を主とし、出土品も多くは日用の陶器類である。ごく一般的な集落といえよう。しかし、官人の身分を示す帯飾りや硯が見られるなど、役人がこの集落に出入りしていたことが伺われる。

飛騨の古代遺跡のほとんどは、寺院もしくは官との関わりをにおわせる。これが古代飛騨の特徴なのであろう。古代飛騨を語る上で重要な官との関わりを示す資料を入口正面に据えた独立ケースに展示した。

また、木製品の中には細かな細工が施された物も見られ、木工技術のタイプを知ることができた。



展示会場の様子(1)

(2)ウバガ平遺跡

高山市ウバガ平遺跡では、縄文時代から古墳時代の集落跡、古墳時代後期の古墳4基が発見された。今回は、弥生時代中期の在地の土器を紹介した。縄文土器のようなプローションと横羽状文という模様が特徴である。

(3)有坂薬師堂遺跡

郡上市八幡町の有坂薬師堂遺跡は縄文時代中期後半から晩期前半にかけての縄文時代の遺跡。長期間にわたり、祭祀や儀礼的な空間として利用された様子を紹介した。

(4)荒尾南遺跡

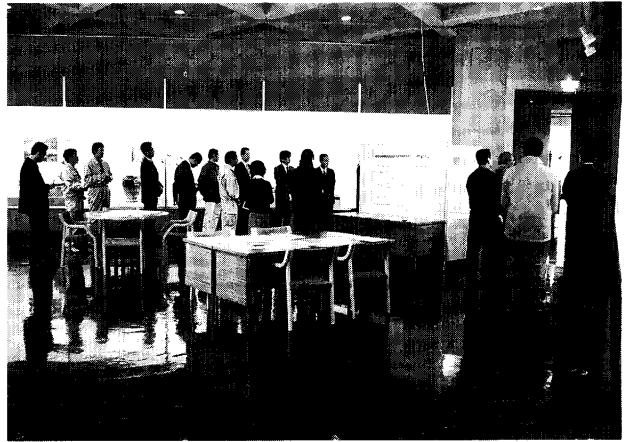
大垣市荒尾南遺跡からは数多くの方形周溝墓や竪穴住居跡とともに、大溝や水田跡などが確認されている。今回は方形周溝墓から見つかった弥生土器を展示した。

(5)文化財保護センターの仕事の紹介

会場の中央スペースに、文化財保護センターの事業について紹介するコーナーを設けた。パウチした現地説明会資料、発掘調査報告書、広報紙「きずな」、発掘調査・整理報告の手順を紹介した双六などを並べた。

(6)その他

会期中、わくわく体験では須恵器の拓本取りを行った。また、会場前に飛騨の古代寺院を紹介するコーナーを設け、展示理解(古代飛騨の特質)に役立てた。



展示会場の様子(2)

土曜日には(財)岐阜県教育文化財団文化財保護センター職員が、日曜日には当館学芸員が1日2回程度展示解説を行った。平日も解説員、学芸員がギャラリートークを心がけた。

来館者は大人が中心であったが、埋蔵文化財に対する関心が高く、県外からも多くの方が来館されたことがギャラリートークを通じてうかがわれた。当館で発掘速報展を開催するのは平成17年度以来であるが、継続した実施を求める声もあった。

5 関連事業

11月29日(土)には、愛知教育大学教授西宮秀紀氏を招き、「古代美濃の国と税制」と題する講演会をハイビジョンホールで行った。美濃の絹が重用されたことが、様々な資料に基づいて述べられた。

〔マイミュージアムギャラリー〕

1 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、一定期間、公開展示の場とする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって審議された内容を参考に作成した展示計画に従い、順次展示をする。出展者の募集は常時行っている。

2 平成20年度の展示状況

回	展示期間	出展内容	出展者
1	4月1日(火) ～ 5月6日(火振)	木の生命 ～彫刻家のとらえた形～	宮川達也
2	5月18日(日) ～ 6月22日(日)	矢立 ～そのアイデアと 装飾の美～	伊佐治石郎
3	7月6日(日) ～ 8月3日(日)	なつのもとも60年 ～子どものころの 夏休み～	岐阜県小中 学校長会
4	8月10日(日) ～ 9月15日(月祝)	1/80の鉄道の世界 ～甦るあの懐かし い鉄道～	山田良夫 山下秀樹
5	9月28日(日) ～ 11月3日(月祝)	中村久子女史の世界 ～人生に絶望なし～	中村久子女 史顕彰会
6	11月16日(日) ～ 12月14日(日)	風俗玉手箱「印判 手」の世界～明治・ 大正・昭和の風俗～	安藤英夫
7	12月21日(日) ～ 2月1日(日)	遊竹	遊竹会

3 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。会場内で来場者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成20年度は7年度からの通番で第103号から第109号まで発行した。

4 出展者による解説・講演・実演等の開催

以下のことを主なねらいとして、出展者の意向を伺いながら、解説、講演、実演等の催しものを積極的に開催している。

- ・来場者と出展者とのふれあいの場をなるべく多くもつ。
- ・展示内容の分野について、来場者により分かりやすく

伝えたり、詳しく解説したりする。

- ・実演や体験を通して、展示内容の分野について親しみをもってもらおう。

○第3回展示「なつのもとも60年」

- ・教室 「夏の友を持ってあつまろう」
日時 平成20年7月27日(日) 10時～11時30分
講師 岐阜県小中学校長会
場所 ハイビジョンホールほか
- ・教室 「岐阜県物知り博士になろう」
日時 平成20年8月2日(土) 10時～11時30分
講師 岐阜県小中学校長会
場所 ハイビジョンホールほか

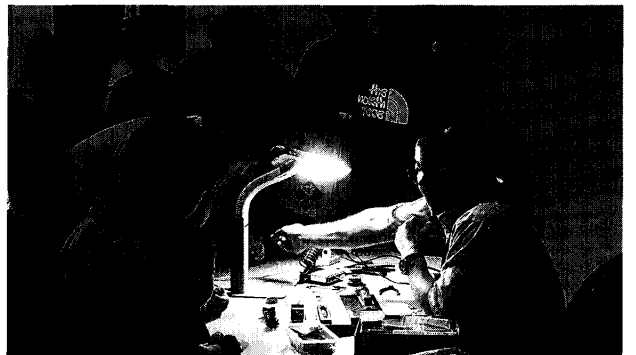


教室「夏の友を持ってあつまろう」の様子

「夏の友を持ってあつまろう」では小学生が各学年に、「岐阜県物知り博士になろう」では中学生が自然分野と歴史分野に分かれ、「夏の友」や「夏の生活」に掲載されている内容について、詳しく学習する教室を行った。博物館の施設・展示資料を使った解説や化石の発掘などの体験的な活動を中心とした教室で、どのグループの子どもも楽しく参加することができた。

○第4回展示「1/80の鉄道の世界」

- ・実演 「鉄道模型の組み立て」
講師 山下秀樹氏
日時 会期中の毎日曜日 13時30分～15時30分
場所 マイミュージアムギャラリー



実演「鉄道模型の組み立て」の様子

出展者の山下秀樹氏が、蒸気機関車の鉄道模型を組み立てる様子を公開した。0.1mm単位で金属の部品を削ったり、曲げたりして形を整え、ハンダ付けをして組み立てるといふ予想以上に緻密で高度な作業に、来場者は驚き、感心しながら実演を見入っていた。また、鉄道模

型に興味を持っている来場者同士が、コレクションや模型づくりの技術について情報を交換する場にもなった。

○第5回展示「中村久子女史の世界」

- ・トーク&コンサート「両手両足のない中村久子の一生」
出演 矢吹紫帆氏
日時 平成20年10月4日(土) 13時30分～15時30分
場所 ハイビジョンホール
- ・講演 「母・中村久子を語る」
講師 中村富子女史
日時 平成20年10月13日(月・祝)13時30分～15時30分
場所 ハイビジョンホール
- ・講演 「中村久子女史の世界」
講師 中村久子女史顕彰会 代表 三島多聞氏
日時 平成20年10月19日(日) 13時30分～15時30分
場所 ハイビジョンホール



講演「母・中村久子を語る」の様子

中村久子女史の二女である中村富子女史を講師に招いた講演会「母・中村久子を語る」では、遠方では新潟県からの参加者もあり、予約の段階で満席になるほどの反響であった。娘から見た母・中村久子女史の生き方、心に残る母の教えなどについて、情熱的に、また時にはユーモラスに語る話に、聴衆は最後まで聞き入っていた。講演後、マイミュージアムギャラリーで遺品の展示解説もされ、来場者からは大変好評であった。

5 博物館同人としての登録

出展者は博物館同人とし、2団体及び8名に同人登録証を発行した。

6 平成20年度の出展申し込み

石にイラストを描いた作品、光と影のコントラストを生かしたアート作品、ひょうたんに装飾を施した作品、陶芸作品、大正・昭和初期の映画で活躍した役者を描いた作品、山野草の鉢植え等の生涯学習の成果としての作品、また、鉄道関連グッズ、アニメグッズ、中国翡翠の彫刻や書画などのコレクション、佐藤一斎に関する資料と県内各地から計13件の申し込みがあった。展示内容に関係した体験や講演を予定している企画が多く、様々な年代の来場者を楽しんでもらえそうな内容であった。

7 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

- 日時 平成20年11月5日(水) 10時～11時30分
- 場所 本館会議室
- 議題

(1) これまでの展示の経過と課題について

・鉄道模型の展示では模型づくりの実演、中村久子女史の遺品の展示では二女である中村富子女史の講演などが好評で、子どもから大人まで幅広い年代から数多くの入場者を得ることができた。

(2) 平成21年度展示計画及び今後の課題について

- ・現在は費用対効果での評価が問われる時代であるので、質のよい企画の立案とともに、来館者の増加という結果も残していくように努力してもらいたい。
- ・財政難の中、文化施設が切り捨てられる傾向にあるが、豊かな人間性を育むためにも博物館のような文化施設は運営を工夫するなどして頑張ってもらいたい。また、行政も力を貸していただきたい。
- ・できれば、入館者の中でも一番メインになる子どもが参加したり、体験したり、学習したりすることができる催事が開催できる展示を行いたい。
- ・歴史や人物に関する資料の展示などでは、講演会など深く学習できる機会があるとよい。
- ・個人のコレクションや作品を見せよう展示だけではなく、岐阜県の歴史・文化・産業に触れることができる展示を行うことは、とても有意義である。
- ・年間8回展示で計画を立てたが、著作権等の関係で展示が不可能になれば、展示回数を減らす。その場合、展示時期や期間については博物館で決定する。

○委員の構成

	氏名	役職
委員	石川 道政	岐阜県市長会代表
〃	岩田 仲雄	会社会長
〃	遠藤 俊三	関市教育委員会教育長
〃	小川 恒雄	岐阜県議会教育警察委員会委員長
〃	加藤 隆一	岐阜県公民館連合会長
〃	佐藤 光宏	岐阜県町村会代表
〃	蓮見 茂夫	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	古川 和明	前岐阜県博物館長
〃	武藤 茂子	岐阜県地域女性団体協議会代表
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長
〃	若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

会長は吉田豊氏、副会長は若宮多門氏が就任。

〔調査研究・資料収集活動〕

一人文部門一

1 調査研究

<考古分野>

(1) 展示に係わる調査研究

今回、文化財保護センター発掘速報展のメインは飛驒の古代集落と水田であった。出土品の理解を深める一助とするため、古代の飛驒を扱った特集展示コーナーを設置した。飛驒の盆地に立てられた古代寺院の資料を紹介し、古代飛驒の特質を浮かび上がらせることができた。

常設展示の展示替えについても、研究成果を反映させながら来館者にわかりやすいテーマ設定を心がけて模索し、実施した。

(2) 下呂石プロジェクトに係わる調査研究

県民とともに行う研究活動として、下呂石研究会発足に向けて準備を行っている。

まず、下呂石について理解を広めるため、県内遺跡での利用状況を主に調査研究し、成果を常設展示などに生かした。また、地学担当者、サポーターとともに、下呂石原産地の踏査を行った。

<歴史分野>

(1) 平成20年度資料紹介展「ぎふの旅いまむかし ～街道・交通・観光名所～」に係わる調査研究

庶民の娯楽として発達した旅の様子を知る手がかりとなる資料について、調査研究を行った。江戸時代では、錦絵に描かれた宿の情景や名所旧跡を紹介する絵図・冊子、当時の旅道具から、街道を歩く旅の様子について考察を行った。また、近代以降では、各地の観光案内の冊子や吉田初三郎が描いた鳥瞰図、絵はがきなどから、県内各地の観光名所と鉄道や車を利用した旅の発達について調査研究を行った。

展示の構成や解説パネルの作成に当たっては、地域との関わりを念頭にして、わかりやすい内容の構成を心がけた。

(2) 寄贈資料・館蔵資料に係わる調査・研究

寄贈された資料の整理と調査研究を進めている。館蔵資料の確認をしつつ、その掘り起こしに努めた。今後の展示活動に資することができるよう心がけたい。

<民俗分野>

(1) 寄贈資料・館蔵資料に係わる調査研究

民俗では、人文展示室1「郷土の百年」、人文展示室2、3階ロビーにある昭和の居間などを主な展示スペースとしている。人文展示室2では、獅子頭や能面、文楽人形など岐阜県の民俗芸能に関わる資料を展示した。他は、季節に関わる資料を中心に定期的に特集展示として展示

替えをした。年間を通じて館蔵資料とその活用について調査研究を行うとともに、今年度は、少なかったが、新規の寄贈資料についても積極的に調査し受け入れを行った。

(2) 平成21年度特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」に係わる調査研究

来年度開催予定の特別展について、資料調査を実施した。県内においては、現在も民俗芸能として伝承している6保存会（室原・真桑・半原・大井・恵那・付知）では、祭礼や発表会での実地調査や借用のお願いを行った。伝承が途絶えてしまった地域では、人形などの資料調査や借用へのお願い、また総合的に地域の祭礼や生活においても調査を行った。また、岐阜県への伝承に関わった先駆者について、長野県や愛知県などにも資料調査を実施した。

<美術工芸分野>

(1) 平成20年度資料紹介展「岐阜県のやきもの」に係わる調査研究

出展作品の選定に当たり、美術工芸分野で取り扱っている収蔵品を網羅的に調査した。また、考古分野で取り扱っている収蔵資料についても、出展候補を探索し、調査をした。これらの調査は、他分野の学芸員から協力を得て行った。その結果、バラエティに富んだ作品を出展することができ、岐阜県のやきもの多様性を示すことができた。

展示の構成や解説パネルの執筆に当たっては、地域との関係を視点に取り入れながら、作品観察や文献渉猟を行った。この調査結果を活用し、展示を作り上げていった。

(2) 常設展示に係わる調査研究

今年度の常設展示では、特別展示コーナーを5回設けたことが特色として挙げられる。社会の動向や時節等を目を向けて、テーマの設定と展示品の選定を行った。調査研究を行い、次の特別展示が実現した。

「東海北陸自動車道全線開通記念特別展示」、「森長可生誕450周年記念特別展示」、「徳川家茂將軍就任150周年記念特別展示」、同第2弾、「干支特別展示 ― 子・丑・寅 ―」。

2 資料数一覧

(平成21年3月31日現在)

分野	館 蔵				借 用	寄 託	総 計
	実 物	複 製	自 作 他	館蔵計(内寄贈数)			
考 古	5,595	164	52	5,811(5,399)	354	656	6,821
歴 史	4,320	34	122	4,476(4,170)	48	178	4,702
民 俗	9,366	1	0	9,367(7,059)	239	114	9,720
美術工芸	1,586	17	0	1,603(1,082)	95	1,331	3,029
合 計	20,867	216	174	21,257(17,710)	736	2,279	24,272

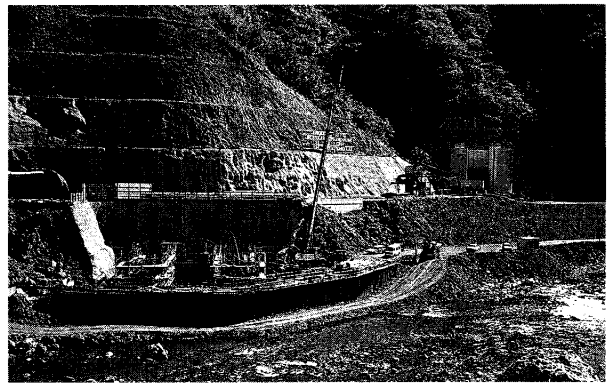
3 寄贈資料一覧 (平成21年3月31日現在)

資 料 名	点数
増山たづ子氏撮影写真パネル	19
合 計	19

【増山たづ子氏撮影写真パネル】



▲お猿さんもお友達 コンニチワ



▲徳山ダム建設現場



▲櫛原分校



▲雪とひまわり

—自然部門—

1 調査研究

<動物分野>

(1) 骨格標本の作成

平成20年度特別展「骨のあるやつ」の準備のため、骨格標本を作製するサポーター組織を作り、ダチョウの骨格を自作した。特別展終了後も活動を継続し、アオウミガメの骨格標本の作製等を行った。

(2) 百年公園の生物相の調査

本年度から環境省のモニタリングサイト1000里地調査に参加し、当館は①中・大型哺乳類、②鳥類、③チョウ、④植物について調査することにした。本年度は、①中・大型哺乳類（10月から11月）、②鳥類（越冬期6回）について、サポーターとともに調査した。



モニタリングサイト1000里地調査（鳥類調査）の様子

(3) 動物採集家折居彪二郎の日記に関わる調査

齊藤郁子氏（沖縄県公文書館）と共同で、折居彪二郎が鳥類研究者、山階芳麿の依頼で、1926年にロシア連邦サハリン州（旧樺太）を調査した際に記した日記の文字起こしを行い、前半部分を当館の研究報告で発表した。

<植物分野>

(1) ヤナギ類の分布調査

ヤナギ類はほとんどが河川敷に生育する樹木である。また、雑種ができやすく、分類が難しいグループでもある。岐阜県内の植物相の解明と、平成22年度に予定している川をテーマとした特別展の調査のため、県内に生育するヤナギ類の分布調査を行った。ヤナギの種の同定には春季の花の標本と、夏から秋の成葉の標本の両方が必要である。そのため、県内の木曾川・長良川・揖斐川・土岐川・矢作川・荘川・宮川の各水系でヤナギ類148個体に個体識別標識を付けて、花と成葉の標本を採集して分類を行った。

(2) 北アルプス槍ヶ岳・穂高岳植物分布調査

岐阜県博物館と岐阜県植物誌調査会では、県内の植物相を解明するために、高山帯・亜高山帯の植物相調査を

2005年から続けている。2008年度は北アルプスの槍ヶ岳・穂高岳周辺の亜高山帯と高山帯の植物分布調査を行なった。調査の結果、これまで博物館に標本がなかったクモスマミレやミヤマオダマキをはじめ、123種の植物が確認でき、標本として採集した。



クモスマミレ（高山市奥飛騨温泉郷）

<地学分野>

(1) 手取層群の調査

平成17年度以降、実施されていなかった荘川周辺地域の手取層群の露頭調査を実施した。平成12年度まで調査されていた地域以外に新たな露頭を調査した。次年度以降、調査対象として検討していきたい。

(2) 海外恐竜調査

当館学芸業務専門職の桂嘉志浩は、(財)藤原ナチュラルヒストリー振興財団の学術研究助成を受け、夏期にアメリカ合衆国モンタナ州において恐竜調査を実施した。また、桂らが同地域の調査をまとめた研究論文は英国王立協会の科学雑誌に掲載され、2008年12月に「第6回国際古生物学研究賞」を受賞した。

(3) 湯ヶ峰流紋岩の調査

「下呂石」「小川石」の名で知られる湯ヶ峰地域に産出する流紋岩を調査した。この調査は、今後の当館の新しい取組「博物館サポーターとともに作り上げる展示」として、人文の考古担当者と共同で行った。



下呂石の現地調査の様子

2 資料数一覧

(平成21年3月31日現在)

分野	館 蔵				借 用	寄 託	総 計
	実 物	複 製	自作・その他	館蔵計(内寄贈数)			
動 物	33,873	21	132	34,026 (19,001)	0	0	34,026
植 物	24,697	86	190	24,973 (11,062)	0	0	24,973
岩石鉱物	2,203	5	73	2,281 (579)	2	0	2,283
化 石	2,010	70	24	2,104 (1,085)	29	27	2,160
そ の 他	63	22	172	257 (21)	0	0	257
合 計	62,846	204	591	63,641 (31,748)	31	27	63,699

3 寄贈資料一覧

(平成21年3月31日現在)

資料名	点数	資料名	点数	資料名	点数
植物化石	8	溶岩	4	アンモノイド化石	1
クマタカ	2	オオタカ	1	トラツグミ	1

4 購入・委託作成資料一覧

(平成21年3月31日現在)

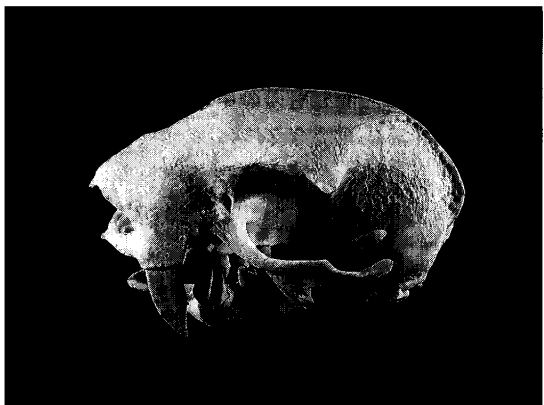
資料名	点数	購 入 先	資料名	点数	購 入 先
魚類骨格標本	8	東京内田科学社	鳥類骨格標本	7	東京内田科学社
は虫類骨格標本	2	東京内田科学社	ほ乳類骨格標本	30	ミュージアム・インポート
ほ乳類骨格標本	2	上野剥製所	ほ乳類骨格標本	2	アヴィス
ほ乳類骨格標本	4	坂本剥製製作所	ほ乳類頭骨レプリカ	5	ミュージアム・インポート
鳥類剥製標本	10	東京内田科学社	植物レプリカ	3	岩崎総合研究所
鉱物	9	J. STELLA			



アンモノイド化石



クマタカ



フタユビナマケモノ頭骨



ケイリュウタチツボスミレ (左) とセンボンギク (右)

マイ・ミュージアム部門

マイミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、既設の機器が老朽化したこともあり、平成19年度末を以てマルチメディア関連事業を一部休止し、マイミュージアム棟4階の一般利用も停止することとなった。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、今年度も、情報化が不可欠な分野に重点を置いて事業を推進した。

1 岐阜県博物館ホームページの改修と活用

紙媒体による広報の縮小傾向を補う手段として、ホームページの充実や活用は非常に重要な位置を占める。

そのような認識から、平成9年9月に開設された岐阜県博物館ホームページを平成19年3月20日にリニューアルし、種々の制約によって十分な改修を行えなかった部分については平成19年度に追加改修を行った。そして平成20年度は、前年度になお対応しきれなかった部分について、以下のような追加改修を行った。

(1) 利用しやすいトップページの実現

リニューアル以後、博物館ホームページ…とりわけトップページに対しては、利用者が求める内容と実際の掲載内容との間にミスマッチがあるのではないかとという声や、必要とする内容に到達するのが大変なのではないか？という指摘を少なからず耳にしていた。そこで今年度は、部署横断的にホームページ検討委員会を立ち上げ、利用者の立場になってホームページ全体について見直しをかけ、改修案を作成した。

このうちトップページについては、デザイン的には大きな変化はないものの、利便性や操作性は格段に向上しており、活用度が向上するものと期待している。

(2) 団体対応機能の充実

これまで学校団体等の予約受付は電話により行って

団体予約申込

利用日	平成21年05月20日
利用時間	9:00 ~ 12:00
団体名	〇〇小学校 (全角)
団体種別	学校
学年	なし
人数	0 名 (半角数字)
引率人数	0 名 (半角数字) ※引率人数は団体種別が学校の場合は必須
性別	
連絡責任者名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
入館目的	満足

入力完了 もとる

新たに追加された団体受付機能（公開画面）

きたが、インターネット受付が普及した昨今、利用を希望する団体にとっては不親切とさえ映り、担当者にとっては業務効率が著しく悪い、という状況に陥っていた。そこで今回、予約を入れる立場になって団体受付ページを設計し、ホームページに組み込むこととした。この改修によって、とりわけ学校の先生方の負担感が軽減されるものと見込まれ、その分、学習プログラムの更なる充実に振り向けられると期待される。

(3) ダウンロード機能の充実

博物館では、チラシ・案内・申請書・報告書・ワークシート等、様々な文書や資料を紙ベースで提供している。その大半は印刷前からデジタルファイルの形で存在し、その多くはホームページ上からダウンロードできる方が好ましいにもかかわらず、従来、この種の資料をホームページ上で公開することは困難であった。そこで今回、様々なデジタル資料をホームページ上へ容易に登録・公開できる機能を付加することとなった。

今後はこの機能を活用し、例えば、来館前に予備知識を提供したり、帰宅後の学習深化を支援したりする等、来館者にとって博物館を利用した学習がより意義深いものとなるような仕組みの構築に道が開けるものと期待される。

なお、今年度はホームページの改修に加え、以下のようにコンテンツの充実や利便性の向上にも努めた。

岐阜県博物館

各種ダウンロード 新規登録

カテゴリ	展覧会
タイトル	
表示期間	平成21年4月30日 ~ 平成21年4月30日
状態	非公開
画像ファイル	
ダウンロードファイル	設定ファイル: ファイル名:

追加する []

戻る キャンセル

ダウンロード用デジタル資料登録機能（管理画面）

(4) インターネット申込の本格運用

岐阜県の公式サイト「ぎふポータル」のイベント申込機能を利用した催しものの申込受付は、昨年度の実験的な運用をふまえ、今年度は多くの催しものにインターネット受付枠を設定するなど、本格的な運用を始めた。利用状況は上々であり、今後もこの受付枠を拡充する方向で検討を行っている。

(5) WEBニュース等、タイムリーな情報配信

ホームページの充実を語る上で、職員がテキストやイメージを簡便に投稿できる「WEBニュース」の活用を忘れてはならない。特別展「骨のあるやつ」の関連内容をWEBニュースの形で連日のように配信したこと

や、催しものの様子をWEBニュースとして迅速に公開したことは、今年度の実績として特筆に値しよう。

2 所蔵品管理用データベースとホームページによる公開

昨年度、帳票出力機能等が安定稼働するようになり、今年度は新データベースを利用した収蔵資料管理が概ね順調に稼働するようになった。そして今年度は、当初からの重要な課題であるホームページ公開にむけ、前年度に引き続き「内容の補足・修正」を進めた。これはデータベースの随所に残っている未記入の項目や表記が不統一の箇所について補足や修正を行うもので、各分野の担当者と連携して作業を行った。

ただし、精査すべき範囲が非常に広く、具体的な見直しを立てるには今しばらく時間が必要である。そして内容の精緻化や新データベースに応じた規程改訂等、種々の課題を克服した上で公開へとつなげる予定である。

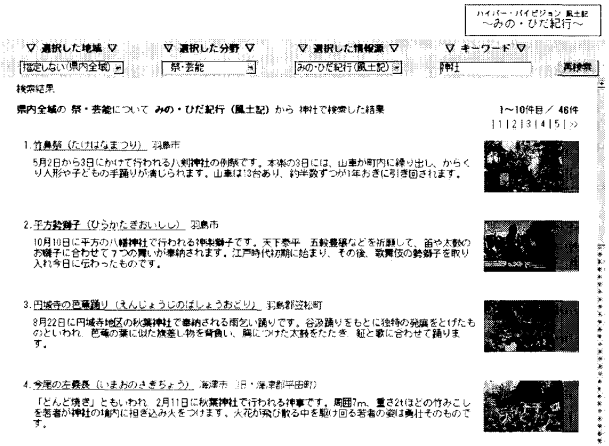
3 「ハイパーハイビジョン風土記」のデジタル化

マイミュージアム部門における今年度最大の事業は、映像ライブラリ「ハイパーハイビジョン風土記～みの・ひだ紀行～」のデジタルファイル化と、パソコン上で閲覧できる機能の構築であった。

マイミュージアム棟の開設（平成7年度）当時に導入されたシステムにおいては、動画等はアナログ形式でレーザーディスク上に、写真はハードディスク上に、という具合に分散して記録されていたほか、アナログハイビジョンは規格そのものが廃止の方向にあった。それは老朽化した機器が故障した段階で、映像ライブラリの公開どころか保存継承の道さえ絶たれる危険性の高いことを意味し、デジタル化が急がれていた。

この事業に際しては、著作権上の課題を適切に処理した上で、できる限り低予算で、できる限り画質を維持する方途を探ることが求められ、その解決に何年もの歳月を必要としていた。そして、ようやく平成20年度事業として予算化され、一連の事業を実施できた次第である。

今後は、郷土学習室における公開を予定しているほか、活用域は学校への出前講座等にも広がると期待される。



デジタル化された「風土記」システム

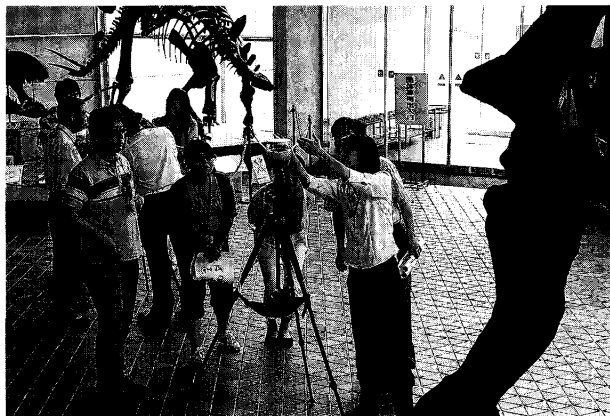
また、機器の都合さえつけば、本館展示室の実物展示を補足する資料として活用することも可能である。

4 ハイビジョンホールの活用

ハイビジョンホールでは、休日や祝祭日に、特別展等に関連するDVD作品の上映を行った。また、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図った。

5 準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座

「デジタル・アーキビスト」とは、文化資料等のデジタル化についての知識と技能を持ち合わせ、文化活動の基礎としての著作権・プライバシーを理解し、総合的な文化情報の収集・管理・保護・活用・創造を担当できる専門家のことで、インターネットの普及や著作権意識の高揚が進み、そのような知識や技能の必要性は博物館にとっても年々高まりつつある。そのため当館では、文部科学省から「社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業『社会人のためのデジタル・アーキビスト教育プログラム』」の選定を受けた岐阜女子大学と共催し、当館を会場とする「準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座」を5月と8月に開催した。



準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座の様子

2回の講座には遠く県外からも参加者があったほか、年齢層が幅広い点にも特徴があった。今後は、新たな資格取得希望者に対して支援を続けながら、資格取得者の意欲や能力を本県の文化振興につなげられるように努力することが、当館の課題となる。

〔教育普及活動〕

1 概要

小中学校での「総合的な学習の時間」の定着、平成17年度から実施の高校生以下入館料無料化、生涯学習社会の進展などに伴い、「社会教育機関」「生涯学習機関」として、子どもから高齢の方まで幅広い年齢層に対する博物館の役割が強く求められている。

博物館への入館は、幼稚園・保育園から小・中・高等学校などの学校団体、子ども会や少年団体をはじめ老人会や福祉施設の団体にいたる各層に利用され、5万人を超える入館者を記録した。

当館では、だれにもわかりやすく楽しんでいただけるプログラムや、より体験的な活動内容を開発してきた。

また、来館者とのふれあい交流の場として、郷土学習室を位置づけ、従来の触察コーナーに加え夏休み・土日祝日には「わくわく体験コーナー」を設置した。「浮世絵体験コーナー」「折り紙で大昔の生き物をつくろう」「日光写真で遊ぼう」「かまれてみよう」などのコーナーを設け、入館者に好きなときに職員の解説のもと、自由に体験していただけるようにした。さらに、「ミュージアムカード」と「博物館シール」のサービスを継続（3年目）し、親しめる博物館を目指した。

一方、年間事業の充実も図ってきた。主な20年度の事業として、特別展（1回）、資料紹介展（3回）、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター発掘速報展（1回）、マイミュージアムギャラリー展示（7回）のほか、年間75回の催しもの実施により、総事業数は87回を数えた。

2 教育活動

(1) 催しもの

講座・講演会・自然観察会およびギャラリー出展者の関連事業（11回）など年間77回の催しものを計画し75回を実施した。「初夏の小川で魚捕り」「魚の捕り方教えます」は悪天候のため、やむなく中止とした。21年度からは予備日を設定するよう検討している。

参加状況は大変好調であった。特別展「骨のあるやつ」の企画関連事業として、「プロの技・・・剥製師のお仕事」と題した特別展講演会や「食べた魚を骨にしよう」「骨のお絵かき一牛君をかこう」「かまれてみよう」「骨の重さを比べよう」など体験型の催しものやコーナーを実施し大変好評であった。

ギャラリー展示「中村久子女史の世界～人生に絶望なし～」の関連事業講演会「母・中村久子を語る」「中村久子女史の世界」も大変好評であった。

緑にかこまれた博物館の立地を生かすため、自然観察会も各種実施した。中でも、定例化した「里山ウォッチング」は、毎月のリピーターが増え、多くの人を楽しんでもらうことができた。

(2) 入館者対応

入館者により楽しく展示物を見ていただくために、「ワンポイントガイド」や「見学シート」を作成・準備し自由に使用できるようにしてきた。

学校などの団体に対しては、人文分野におけるカラービンゴを、自然分野では発達段階に応じて興味関心に応えるための3種類のカラービンゴを用意した。幼稚園・保育園児にまでカラービンゴの対象を広げられた。

また、小中学校の学習指導要領をふまえた総合学習や理科・社会の学習で学校の授業と関連させた「秋みつけ」「川の流れ」「大地の変化」「昭和の暮らし」など博物館の学習教材を使った学習を行い好評であった。

(3) 学校、福祉施設などの活用

団体利用は、138団体で、幼稚園・保育園（15）、小学校（86）、中学校（8）、高校（6）、大学（3）、福祉施設（3）、その他（17）であった。

地域別の利用状況は、下記ようになる。

美濃地区	41.3%	岐阜地区	24.6%
愛知県	19.6%	加茂地区	6.5%
その他	8.0%		

20年度の利用は、美濃地区の利用のほか、岐阜地区が多かった。西濃地区からの利用も始まった。学年別にみると、小学校1、2年の利用が半分を占め、百年公園での活動とセットにした利用が多い。

(4) 研修会などの活用

学校関係を中心にして、66団体であった。

(5) 出前授業・講師派遣などの活用

出前授業の実施回数は16回（小学校13回、中学校1回、高校2回）で、理科の授業が中心であった。

講師に招聘されたのは7回であった。招聘先は中学校、市町村教育委員会等であった。

小学校の授業、公民館や各種団体への生涯学習の場として、様々に活用されている。

3 広報活動

来館者の増加をめざして、広報活動の充実を図った。特に、以下のことに力を注いだ。

- ① 公園内に博物館案内を計画的に表示し、入館への呼びかけに努めた。
- ② 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して情報提供を積極的に行った。
- ③ ポスターやチラシの発送先の見直しを図り、より効果的な広報を目指した。

4 博物館実習生指導

7月21日（月）から7月25日（金）までの5日間、岐阜聖徳学園大学（3名）・岐阜女子大学（2名）・高知大学（1名）・愛媛大学（1名）・滋賀県立大学（1名）・四国大学（1名）・聖徳大学（1名）・京都産業大学（1名）・大阪芸術大学（1名）・東海大学（1名）・信州大学（1名）の11大学から14名の学生を受け入れ、実習生指導を学芸部職員全員で行った。共通実習と選択分野別実習により、実習生が充実した活動を行うことができるよう工夫した。

5 資料の貸し出し

分野	機関名	資料名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
人	(株)ロック開発ロックシティ大垣	増山たづ子氏撮影写真	平成20年 3月20日	平成20年 4月13日	20
	(財)尾鷲文化振興会	増山たづ子氏撮影写真	平成20年 4月23日	平成20年 4月29日	20
	東武計画(株)	青織部四方平鉢 デジタル画像	平成20年 5月15日	平成20年 5月31日	1
	(株)NHKブラネット近畿総支社	華嚴寺毘沙門天立像 ポジ	平成20年 6月11日	平成20年 8月15日	1
	東京文化財研究所	美濃国分寺薬師如来坐像 ポジ・ネガ	平成20年 7月 2日	平成20年 7月31日	2
	岐阜市歴史博物館	刀 銘 濃州赤坂住兼元 ポジ	平成20年 8月 1日	平成20年11月15日	1
	天竜川漁協組合	増山たづ子氏撮影写真パネル	平成20年 8月 5日	平成20年 8月14日	19
	関市教育委員会	円空作 西光寺薬師如来坐像 他	平成20年 8月12日	平成20年12月 9日	2
	岐阜市歴史博物館	刀 銘 濃州赤坂住兼元 他	平成20年 9月 1日	平成20年12月13日	2
	一宮市立北方中学校	増山たづ子氏撮影写真パネル	平成20年 9月 8日	平成20年 9月25日	19
文	(株)フジテレビジョン	増山たづ子氏使用のカメラ	平成20年 9月14日	平成20年 9月16日	1
	西谷白山神社	円空作 西谷白山神社弘法大師坐像 他	平成20年 9月22日	平成20年 9月24日	3
	富山県埋蔵文化財センター	異形部分磨石石器	平成20年10月 6日	平成20年12月12日	1
	大和文華館	歌川国芳「木曾街道六十九次之内 赤坂 光明皇后」 他 ポジ	平成20年11月 1日	平成20年12月20日	2
	(株)朝日新聞社	増山たづ子氏撮影写真パネル	平成20年11月27日	平成20年12月11日	19
	(株)勉誠出版	南垣内遺跡出土縄文土器写真ほか	平成20年12月15日	平成21年 3月31日	6
	海津市歴史民俗資料館	円満寺山古墳出土三角縁神獸鏡ほか	平成20年12月18日	平成21年 5月25日	14
	(株)郁朋社	二代歌川国輝「勳進大相撲土俵入之図」 ポジ	平成21年 1月18日	平成21年 4月10日	1
	曾我孝司(県立東濃高等学校)	写真(プリント) 世阿弥自筆能本「江口」他	平成21年 2月 1日	平成21年 2月15日	5
	自	多治見市立笠原中学校	ほ乳類頭骨標本	平成20年 4月24日	平成20年 5月 9日
各務原市立蘇原中学校		ほ乳類頭骨標本	平成20年 4月29日	平成20年 5月25日	12
(特)生態教育センター		鳥類はく製標本	平成20年 5月 1日	平成20年 5月 8日	47
光記念館		ほ乳類・鳥類はく製標本、植物レプリカ等	平成20年 5月 9日	平成20年 9月26日	64
岐阜県立岐阜盲学校		ほ乳類頭骨標本	平成20年 5月18日	平成20年 6月 1日	2
岐阜市立陽南中学校		ほ乳類頭骨標本	平成20年 5月19日	平成20年 5月31日	5
豊橋市自然史博物館		動物液浸標本	平成20年 6月20日	平成20年12月17日	7
岐阜県先端科学技術体験センター		植物レプリカ、恐竜骨格標本レプリカ	平成20年 7月 2日	平成20年 9月 5日	19
飯田市美術博物館		植物レプリカ	平成20年 7月15日	平成20年10月15日	1
岐阜県立飛騨神岡高等学校		化石のレプリカ作製教材一式	平成20年 7月25日	平成20年 8月 5日	42
然	ハートピア安八	昆虫標本	平成20年 7月28日	平成20年 8月15日	27箱
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類はく製標本	平成20年 9月 1日	平成20年10月31日	6
	岐阜県美術館	昆虫標本	平成20年 9月25日	平成20年 9月29日	36箱
	(有)ザ・ライトスタッフオフィス	イグアノドン全身骨格写真	平成20年10月10日	平成20年10月15日	1
	可児市立春里小学校	化石のレプリカ作製教材一式	平成20年10月12日	平成20年10月18日	72
	岐阜市科学館	化石標本	平成20年10月19日	平成20年10月29日	30
	南山国際高等学校	化石のレプリカ作製教材一式	平成20年10月19日	平成20年10月26日	120
	(株)KRC	博物館内展示室の写真	平成20年10月20日	平成20年11月 3日	4
	本巣市立本巣小学校	ドングリこまの土俵	平成20年10月27日	平成20年11月14日	2
	山県市立大桑小学校	昆虫標本、化石標本、岩石鉱物標本	平成20年11月 8日	平成20年11月14日	22
岐阜市立長良西小学校	化石標本	平成20年11月11日	平成20年11月19日	55	
羽島市立竹鼻中学校	ほ乳類頭骨標本	平成20年11月18日	平成20年11月23日	10	
名古屋市立中央高等学校	化石標本	平成20年11月22日	平成20年11月29日	10	
岐阜市立長良東小学校	化石標本	平成20年11月29日	平成20年12月 6日	80	
岐阜県立岐山高等学校	化石のレプリカ作製教材一式	平成20年12月 6日	平成20年12月13日	30	
岐阜市科学館	化石標本	平成20年12月 6日	平成20年12月14日	30	
笠松町歴史民俗資料館	ほ乳類頭骨標本	平成20年12月17日	平成20年 2月 8日	1	
(有)ハマユ	ほ乳類の写真	平成20年12月28日	平成21年 1月 7日	5	
関市立武儀中学校	鳥類はく製標本	平成21年 1月25日	平成21年 2月 1日	4	
南山国際高等学校	化石のレプリカ作製教材一式	平成21年 1月25日	平成21年 1月31日	138	
犬山市立犬山中学校	動物はく製標本	平成21年 2月15日	平成21年 2月17日	11	
各務原市教育委員会	化石のレプリカ作製教材一式	平成21年 3月 1日	平成21年 3月 9日	12	
岐阜大学教育学部	化石標本	平成21年 3月 7日	平成21年 3月24日	12	
岐阜市立三輪中学校	化石標本	平成21年 3月10日	平成21年 3月16日	25	
多治見市立平和中学校	化石標本・化石のレプリカ作製教材一式	平成21年 3月12日	平成21年 3月19日	85	
エコミュージアム関ヶ原	動物はく製標本	平成21年 3月15日	平成21年 6月30日	8	
合 計					1194

6 図書資料

(平成21年3月31日現在)

区 分	図書資料数	備 考
一般資料	18,638	含 刀剣文庫
郷土資料	5,038	
児童書	1,265	
博物館資料	5,038	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	29,979	

7 刊行物の発行

名 称	発行年月日	判、頁	部数	備考
岐阜県博物館報第31号	20. 4. 1	A4 38頁	800	
平成21年度岐阜県博物館催しもの案内（掲示用）	21. 3. 31	B2	2,500	
平成21年度岐阜県博物館催しもの案内（携帯用）	21. 3. 31	A4 4ツ折	47,500	
岐阜県博物館調査研究報告第30号	21. 3. 31	A4 46頁	700	
【特別展等のポスター・リーフレット】				
骨のあるやつ	ポスター	20. 9. 19	B2	2,800
骨のあるやつ	リーフレット	20. 9. 19	A4	95,000
骨のあるやつ	図録	20. 9. 19	A4 100頁	500
【資料紹介展・特別企画のポスター・リーフレット】				
ぎふの旅いまむかし～街道・交通・観光名所～	ポスター	20. 4. 26	B2	800
ぎふの旅いまむかし～街道・交通・観光名所～	リーフレット	20. 4. 26	A4	20,000
三葉虫の謎～立松コレクション～	ポスター	20. 7. 5	B2	800
三葉虫の謎～立松コレクション～	リーフレット	20. 7. 5	A4	26,000
岐阜県のやきもの	ポスター	21. 1. 24	B2	800
岐阜県のやきもの	リーフレット	21. 1. 24	A4	20,000
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション第103号		20. 4. 1	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第104号		20. 5. 18	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第105号		20. 7. 6	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第106号		20. 8. 10	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第107号		20. 9. 28	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第108号		20. 11. 16	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第109号		20. 12. 21	A4 両面	1,000
マイミュージアムギャラリー	ポスター	20. 3. 7	B2	1,000
マイミュージアムギャラリー	リーフレット	20. 3. 7	A4	10,000

8 幼稚園・学校・福祉施設等の利用状況

※来館人数は引率者を含む

月・日	園・学校など	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
4/5	関市・警察学校初任科生研修		152	2.5	マイミュージアムギャラリー・自然展示室・人文展示室見学
4/25	関市・関保育園	年長	36	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
4/30	岐阜市・芥見小学校	5	81	2	恐竜VTR、自然展示ビンゴ
4/30	岐阜市・芥見小学校	6	73	2	自然展示ビンゴ、人文展示ビンゴ、身のまわりの遺跡解説
5/1	一宮市（愛知）・小信中島小学校	3	99	1.5	自然展示ビンゴ、人文展示ビンゴ
5/9	関市・武儀東小学校	1,2	33	1	春みつけビンゴ
5/13	岐阜市・三輪南小学校	5	106	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、人文展示ビンゴ
5/13	一宮市（愛知）・大徳小学校	3	99	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、人文展示室見学
5/14	郡上市・郡上特別支援	中学部	16	1.5	自由見学
5/16	関市・富岡小学校	2	107	1	春みつけビンゴ
5/16	関市・倉知小学校	1	76	1	自然展示ビンゴ
5/16	関市・県立中濃特別支援学校	高等部	12	1	自由見学
5/20	関市・桜ヶ丘小学校	2	91	1.5	恐竜解説、恐竜VTR、自由見学
5/20	関市・武芸小学校	3	19	3	ギフトウ解説・観察、恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
5/21	関市・金竜小学校	3	131	3	里山オリエンテーリング
5/21	関市・桜ヶ丘小学校	1	92	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/21	小牧市（愛知）・小牧市民病院言語教室		28	1	自由見学
5/23	山県市・梅原保育園	全	90	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/24	関市・俳句教室		44	1.5	俳句づくり
5/27	関市・武儀西小学校	3	9	4	里山オリエンテーリング、昆虫解説・観察
5/27	関市・武儀東小学校	3	18	4	里山オリエンテーリング、昆虫解説・観察
5/27	岐阜市・県立岐阜農林高等学校	2	42	1	自由見学
5/29	美濃加茂市・県立可茂農林高等学校	1	38	1	自由見学
5/31	関市・県立関有知高等学校	科学部	7	1	自由見学
6/4	関市・倉知小学校	2	98	2	自然展示ビンゴ、いきものビンゴ
6/4	関市・下有知小学校	2	83	1	自然展示ビンゴ
6/13	名古屋（愛知）・名古屋教育文化センター		29	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
6/18	関市・安桜小学校	3	86	4.5	グリーンアドベンチャー、自然展示ビンゴ、昆虫解説・観察
7/18	関市・松浜保育園	全	32	1	恐竜解説、自由見学
7/19	関市・中部学院大学		40	2	人文展示・自然展示・資料紹介展示解説・見学
7/19	名古屋（愛知）・名城幼稚園	年長	37	1	自由見学
7/21	あすなろセンター		19	1	自由見学
7/30	稲沢市（愛知）・稲沢文化財愛護少年団	小	38	1	人文展示解説、自由見学
8/2	江南市（愛知）・江南スポーツ少年団	小	98	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
8/2	小牧市（愛知）・セイシン教育センター	1	94	2	恐竜解説、自由見学
8/6	小牧市（愛知）・セイシン教育センター	1	105	2	恐竜解説、自由見学

月・日	園・学校など	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
8/ 8	稲沢市(愛知)・稲沢文化財愛護少年団	小	28	1	人文展示解説、自由見学
8/14	関市・とうかい文化フォーラム	小中高	20	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学、交流会
8/21	稲沢市(愛知)・稲沢文化財愛護少年団	小	30	1	人文展示解説、自由見学、交流会
8/21	北名古屋(愛知)・北名古屋文化財愛護少年団	小	23	1	人文展示解説、自由見学、交流会
8/28	大口町(愛知)・ウィル大口スポーツクラブ		60	1	自由見学
9/10	山県市・はなぞの北幼稚園	年中	35	1	恐竜解説、自由見学
9/26	大垣市・西小学校	5	106	1	自然展示ビンゴ、特別展見学
9/26	岐阜市・鷺山小学校	1	85	2	自然展示ビンゴ、自由見学
10/ 1	山県市・大桑小学校	6	12	2	体験学習(大地)
10/ 1	関市・小金田中学校	2	3	5	職場体験(人文・自然・教育普及)
10/ 2	下呂市・金山小学校	1,2	48	1	自然展示ビンゴ
10/ 2	岐南町・西小学校	1	79	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 2	関市・小金田中学校	2	3	5	職場体験(人文・自然・教育普及)
10/ 3	関市・小金田中学校	2	3	5	職場体験(人文・自然・教育普及)
10/ 4	北名古屋(愛知)・中村イングリッシュプレイグループ		26	2	恐竜解説、独自活動、自由見学
10/ 7	瑞穂市・生津小学校	2	58	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 7	関市・田原小学校	1	79	1	秋みつけビンゴ
10/ 7	一宮市(愛知)・大和西小学校	2	117	1.5	自然展示ビンゴ、特別展見学、マイミュージアムギャラリー見学
10/ 7	岐阜市・藍川中学校	2	5	5	職場体験(人文・自然・教育普及)
10/ 8	稲沢市(愛知)・稲沢北小学校	3	61	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、マイミュージアムギャラリー見学
10/ 9	一宮市(愛知)・西成小学校	1,2	128	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
10/ 9	揖斐川町立・小島小学校	1	43	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/ 9	岐阜市・木之本小学校	3	45	1.5	体験学習(昭和のくらし)、特別展見学
10/10	関市・武儀西小学校	1,2	21	2.5	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/10	関市・武儀東小学校	1,2	30	2.5	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/10	関市・下有知小学校	1	85	2.5	秋みつけビンゴ、秋のクラフト(ドングリ笛)
10/15	岐阜市・岩野田北小学校	1	88	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/15	一宮市(愛知)・北方小学校	2	121	1.5	自然展示ビンゴ、特別展見学
10/16	関市・武芸小学校	2	41	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/16	関市・富野小学校	1,2	29	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/16	羽島市・中島小学校	3	64	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/17	各務原市・川島小学校	2	103	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/17	関市・金竜小学校	1	147	1.5	自然展示ビンゴ、特別展見学
10/17	関市・南ヶ丘小学校	1,2	36	2.5	五感をとおして木のひみつを知らう、百年公園の3つの森を観察しよう
10/21	関市・洞戸小学校	1,2	44	1.5	自然展示ビンゴ、自由見学
10/21	稲沢市(愛知)・六輪小学校	1,2	130	1	自然展示ビンゴ
10/21	関市・田原小学校	2	75	2.5	秋みつけビンゴ、秋のクラフト(ドングリ笛)、特別展見学
10/22	関市・富岡小学校	1	88	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/22	岐阜市・西郷小学校	1	97	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、マイミュージアムギャラリー見学
10/23	関市・上之保小学校	1,2	35	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/23	大口町(愛知)・大口南小学校	1	56	3	恐竜VTR、自然展示ビンゴ
10/23	犬山市(愛知)・羽黒小学校	2	98	2	自然展示ビンゴ、特別展見学
10/24	関市・博愛小学校	1,2	94	4	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ、特別展・マイミュージアムギャラリー見学
10/24	山県市・富岡小学校	2	78	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、マイミュージアムギャラリー見学
10/25	関市・警察学校初任科生研修		29	2.5	特別展・マイミュージアムギャラリー・自然展示室・人文展示室見学
10/26	高山市・大野山ゆり園		39	1	自由見学
10/28	江南市(愛知)・古知野小学校	2	185	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/28	関市・博愛小学校	3	38	2.5	自然展示ビンゴ、体験学習(昭和のくらし)、マイミュージアムギャラリー見学
10/28	七宗町・上麻生小学校	1,2	45	3	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ
10/29	関市・瀬尻小学校	3	79	4	グリーンアドベンチャー、特別展・マイミュージアムギャラリー見学
10/29	岐南町・東小学校	1	96	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、マイミュージアムギャラリー見学
10/30	稲沢市(愛知)・高御堂小学校	3	51	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/30	一宮市(愛知)・黒田小学校	2	98	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/30	本巣市・根尾中学校	2	1	5.5	職場体験(自然)
10/31	関市・旭ヶ丘小学校	1	77	1	秋みつけビンゴ
10/31	関市・旭ヶ丘小学校	2	64	1	秋みつけビンゴ
10/31	稲沢市(愛知)・小正小学校	3	96	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、マイミュージアムギャラリー見学
10/31	本巣市・根尾中学校	2	1	5.5	職場体験(自然)
11/ 5	関市・田原小学校	3	61	3	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ、体験学習(昆虫)
11/ 5	岐阜市・長良東小学校	1	133	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/ 5	郡上市・県立郡上特別支援学校	小学部	10	2.5	自由見学
11/ 6	関市・板取小学校	1,2	19	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
11/ 6	関市・瀬尻保育園	年長・中	105	1	自由見学
11/ 6	山県市・梅原小学校	1,2	37	2.5	自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ

月・日	園・学校など	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
11/7	大垣市・墨俣小	1	55	1.5	自然展示ビンゴ
11/7	北名古屋市(愛知)・西春小	3	103	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
11/11	関市・安桜小	2	95	2	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
11/11	関市・瀬尻小	1	74	1	秋みつけビンゴ
11/11	岐阜市・県立岐阜盲学校	高等部	4	1.5	体験学習(古生物)
11/12	岐阜市・岐阜大学教育学部附属小	1	130	2.5	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ、特別展見学
11/12	多治見市・県立多治見高	2	41	1	特別展見学
11/13	関市・下有知小	3	67	2	自然展示ビンゴ、特別展見学、体験学習(学芸員の仕事)
11/13	山県市・伊自良南小	1	35	2	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/14	富加町・富加小	1	41	2	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/14	美濃市・中有知小	1	49	3	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ、秋のクラフト(ドングリ笛)
11/19	高富市・はなぞの北幼稚園	年長	31	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/20	山県市・富岡小	6	65	2	体験学習(大地)
11/21	川辺町・川辺西小	5	69	1	自然展示ビンゴ
11/21	ひだまりサロン		10	2.5	自由見学
11/26	笠松町・松枝小	2	144	3	秋みつけビンゴ、秋のクラフト
11/27	岐阜市・サニーサイドインターナショナル幼稚園	年中	92	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/28	関ヶ原町・北小	5	30	1	自然展示ビンゴ
11/28	関ヶ原町・南小	5	46	1	自然展示ビンゴ
11/28	関市・金竜小	6	40	2	体験学習(大地)
12/2	各務原市・那加第二小	3	125	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
12/3	岐阜市・長良小	3	104	1	自然展示ビンゴ
12/3	関市・金竜小	6	38	2	体験学習(大地)
12/5	関市・金竜小	6	38	2	体験学習(大地)
12/13	養老町・養老町親子学習教室		48	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、資料紹介展解説・見学、自由見学
12/16	御嵩町・上之郷小	5	23	4	体験学習(川の流れ)、恐竜解説、自由見学
1/7	関市・小金田保育園	年長・中	85	1	七草がゆ
1/31	岐阜市・岐阜大学教育学部理科教育	3	21	5	教育普及事業について、博学連携事業について
2/4	岐阜市・加納小	3	65	5	グリーンアドベンチャー、恐竜解説、自然展示ビンゴ
2/4	岐阜市・長良中	2	2	5	職場体験(地学分野)
2/12	美濃市・ふたば幼稚園	年中	39	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
2/13	関市・虹ヶ丘幼稚園	年長	94	1.5	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ
2/20	美濃加茂市・蜂屋保育園	年長・中	52	2	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ
2/24	美濃加茂市・太田第二保育園	年長・中・小	73	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
3/5	渋谷区(東京)・國學院大學博物館学研究室		33	2	博物館概要、収蔵庫・収蔵物見学、人文展示解説・見学
3/6	扶桑町(愛知)・扶桑幼稚園	年長	75	2	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ、人文展示見学
3/6	美濃加茂市・加茂野保育園	年長・中	129	2	恐竜解説、恐竜VTR、自然展示ビンゴ
3/31	可見市・子どもワクワク探偵団	小2~中2	10	2.5	恐竜解説、合掌造り解説、岐阜県の自然解説、自由見学
合	計	138団体	8457		

9 催しもの開催状況

事業名	期日	対象	定員	参加	内容
企画展 関連事業	7/19	親子	30名	28	三葉虫を調べよう
	9/28	一般	130名	65	特別展講演会「プロの技…製師のお仕事」
	10/5	一般	20名	65	骨のお絵かき-牛君をかこう-
	10/26	親子	15組	16	食べた魚を骨にしよう
	11/2	一般	130名	20	特別展講演会「野生動物救護～はじめての歩～」
	11/29	一般	130名	63	速報展講演会「古代美濃の国と税制」
カルチャー 講座	4/16	一般	なし	45	里山ウォッチング
	5/10	一般	30名	19	社会人のための準デジタル・アーキスト資格取得2日間講座(1)11日
	5/11	一般	30名	20	社会人のための準デジタル・アーキスト資格取得2日間講座(1)2日
	5/21	一般	なし	56	里山ウォッチング
	6/18	一般	なし	38	里山ウォッチング
	7/16	一般	なし	26	里山ウォッチング
	8/9	一般	30名	18	社会人のための準デジタル・アーキスト資格取得2日間講座(1)11日
	8/10	一般	30名	18	社会人のための準デジタル・アーキスト資格取得2日間講座(1)2日
	8/20	一般	なし	38	里山ウォッチング
	9/17	一般	なし	23	里山ウォッチング
	10/15	一般	なし	25	里山ウォッチング
	11/9	一般	130名	20	岐阜の歴史講座「貴族になった豊臣秀吉」
	11/19	一般	なし	31	里山ウォッチング
	12/17	一般	なし	20	里山ウォッチング
	1/28	一般	なし	35	里山ウォッチング
2/18	一般	なし	36	里山ウォッチング	
3/18	一般	なし	53	里山ウォッチング	
3/20	一般	20名	22	講演「岐阜のほもとけたち」平成20年度版	
たのしい 博物館	4/13	親子	20名	14	自然観察会「ギフチョウを観察しよう」
	5/3	親子	40名	37	化石のレプリカをつくろう
	5/5	一般	30名	37	まが玉をつくろう
	5/18	親子	20名	13	自然観察会「初夏のバードウォッチング」
	5/25	親子	20名	29	自然観察会「初夏の小川で魚捕り」
	6/1	小学生以上	20名	29	化石をみがいてパーパーウェイトをつくろう
	6/15	一般	40名	32	楽しい折り紙教室
	6/21	親子	20名	20	親子で博物館探検
	6/22	親子	20名	雨天中止	魚の捕り方教えます～ピオトーフの魚調べ～
	6/29	一般	15セット	8	小島の骨の標本をつくろう1日目
	7/6	一般	15セット	9	小島の骨の標本をつくろう2日目
	7/13	親子	20名	12	植物標本の作り方教室1日目
	7/20	親子	20名	12	植物標本の作り方教室2日目
	7/21	一般	40名	61	木の動くおもちゃづくり(恐竜)
	7/26	親子	40名	31	化石のレプリカをつくろう
	7/27	親子	10組	16	江戸時代のおもちゃをつくってみよう(紙つぼめ)
	8/2	親子	20組	57	ナイトウォッチング
	8/3	親子(小3年以上)	20組	37	火おこし器をつくろう
	8/16	親子	40名	15	化石のレプリカをつくろう
	8/23	親子	10組	12	江戸時代のおもちゃをつくってみよう(紙つぼめ)
	9/7	一般	30名	41	まが玉をつくろう
	9/21	親子	30名	28	昭和のおもちゃをつくろう(日光写真)
	10/11	親子	10組	23	木の実で遊ぼう
	10/12	親子	30名	27	昭和のおもちゃをつくろう(日光写真)
	11/3	一般	300名	313	里山オリエンテーリング
	11/16	一般	200名	135	徳山のくらしを体験しよう
	12/6	一般	30名	21	まが玉をつくろう
12/7	親子	20組	19	自然観察会「カブトムシの幼虫をさがそう」	
12/14	一般(小3年以下親子)	40名	16	和紙をつくろう	
12/21	一般	40名	37	わら細工～しめ飾りをつくろう～	
1/6	一般	20名	23	自然観察会「春の七草ウォッチング」	
1/18	親子	20名	8	親子で博物館探検	
2/1	親子	20名	15	自然観察会「冬のバードウォッチング」	
2/22	親子	40名	44	昭和のくらしを体験しよう	
3/15	親子	20名	12	親子で博物館探検	
ギャラ リー 関連事業	7/27	小学生	各学年20名	61	夏の友を持ってあつまろう
	8/2	中学1・2年	各20名	12	岐阜県物知り博士になろう
	8/10	一般	なし	120	実演「鉄道模型の組み立て」
	8/17	一般	なし	100	実演「鉄道模型の組み立て」
	8/24	一般	なし	100	実演「鉄道模型の組み立て」
	8/31	一般	なし	100	実演「鉄道模型の組み立て」
	9/7	一般	なし	100	実演「鉄道模型の組み立て」
	9/14	一般	なし	100	実演「鉄道模型の組み立て」
	10/4	一般	130名	70	トーク&コンサート「両手両足のない中村久子的一生」
	10/13	一般	130名	139	講演会「母・中村久子を語る」
10/19	一般	130名	65	講演会「中村久子女史の世界」	
特別行事	5/4	一般	300名	101	春のグリーンアドベンチャー
	1/7	一般	200名	232	七草がゆを食べよう
	3/8	一般	130名	68	早春のコンサートinミュージアム～春の音楽を生演奏で～
博物館 講座	6/5	教員	20名	9	五感を活用した自然観察の方法
	6/6	教員	20名	15	石器づくり・火おこし体験のツボ
	8/6	教員	20名	15	生活道具を教材にしよう
	10/9	教員	30名	10	化石レプリカの作成方法
合計				3,419	

10 出前授業

	期 日	用 務 先	対象児童等	人 数	会 場	授 業 内 容
1	平成20年 6月13日	関市立瀬尻小学校	4年生	84	長良川	カワゲラウオッチング事前指導
2	平成20年 6月16日	関市立上之保小学校	4年生	15	津保川	カワゲラウオッチング
3	平成20年 6月17日	関市立瀬尻小学校	4年生	83	長良川	カワゲラウオッチング
4	平成20年 6月27日	岐阜市立日野小学校	6年生	74	諏訪神社	岐阜市日野の歴史(諏訪神社獅子頭・遺跡)
5	平成20年 7月 2日	関市立金竜小学校	4年生	115	津保川	カワゲラウオッチング
6	平成20年 7月 7日	関市立武儀西小学校	4年生	10	津保川	カワゲラウオッチング
7	平成20年 7月 8日	各務原市立稲羽中学校	中学1年生	98	各務原市立稲羽中学校	各務原市の歴史
8	平成20年 7月10日	関市立安桜小学校	4年生	108	関川	カワゲラウオッチング
9	平成20年 7月11日	関市立武儀東小学校	4年生	15	津保川	カワゲラウオッチング
10	平成20年 7月11日	関市立武儀中学校	1年生	25	津保川	カワゲラウオッチング
11	平成20年10月 1日	関市立富岡小学校	4年生	101	関市立富岡小学校	肥田瀬用水に住む生き物について
12	平成20年10月10日	岐阜市立三輪北小学校	1年生	19	石田川	川の生き物の観察
13	平成20年11月 8日	各務原市立鵜沼第一小学校	4年生～6年生	23	鵜沼第一小学校	化石のレプリカづくり
14	平成20年12月 9日	岐阜県立不破高等学校	高校3年生	33	岐阜県立不破高等学校	西濃の歴史
15	平成20年12月10日	岐阜県立飛騨高山高等学校	環境科学科1～3年	30	川上川	河川環境調査の方法
16	平成21年 3月 3日	関市立武儀東小学校	4年生	15	津保川・武儀倉川合流地点	カワゲラウオッチング

11 講師派遣

	期 日	用 務 先	対 象	人 数	内 容
1	平成20年 4月24日	県民ふれあい会館	採用2年目の県職員	105	岐阜県の文化と歴史
2	平成20年 7月21日	山田子ども会	児童・保護者	48	水生生物の調査
3	平成20年 8月21日	関市小中学校教育研究会	教員	9	水生生物の観察
4	平成20年 9月 6日	自治体“農”ネットワーク	一般	30	水路の生態系の観察
5	平成20年 9月27日	岐阜県美術館	親子	100	企画展開連の催しもの
6	平成20年 9月28日	藤長良・自然とくらし楽校	中学生・親子	23	「トンボの里」の生物調査・植生調査
7	平成20年10月11日	岐阜県美術館	親子	80	企画展開連の催しもの

〔利用状況〕

1 入館者数

本年度は、入館者数51,139人で前年に比べて26,379人34.0%の減となった。これは、今年度から特別展が従来の年2回から1回になったことや、昨年度の特別展が恐竜展であったことから、児童生徒を中心に大きく減少したと考えられる。

開館日数は306日であり、1日平均の入館者数は167人で、1日あたりの入館者が最も多かった日は、館の無料開放日となる11月3日の文化の日で2,475人を数えた。

団体入館者数は、7,265人で、入館総数の約14.2%を占めており、月別では10月が2,708人で一番多く、団体入館者総数の37.3%を占めている。

特別展期間中に入館者数は下表のとおりである。入館者総数は、16,666人を数え1日平均は327人であった。

月	小中高生	大学生	一 般	計	開館日数	一日平均
4	1,699	17	1,812	3,528	26	136
5	3,055	23	2,751	5,829	27	216
6	1,334	20	1,957	3,311	25	132
7	1,445	77	1,696	3,218	27	119
8	3,530	55	3,368	6,953	27	258
9	2,124	30	2,033	4,187	25	167
10	5,310	38	3,121	8,469	27	313
11	4,167	51	3,594	7,812	26	300
12	708	14	720	1,442	24	60
1	544	27	895	1,466	22	67
2	1,116	13	1,237	2,366	24	99
3	1,239	54	1,265	2,558	26	98
合計	26,271	419	24,449	51,139	306	167

特 別 展 名	期 間	小中高生	大 学 生	一 般	計
骨のあるやつ	9/19～11/16	9,656	108	6,902	16,666

2 施設利用

今年度の講堂及び研修室等の主な利用者は、次のとおりであった。

<講堂>

4/10	ウシモツゴ研究会	8/19～20	岐阜県高等学校教育課程研究集会
4/19	岐阜県植物誌調査会	8/21	関市小中学校教育研究会小学校理科部会
4/24	岐阜県博物館協会理事会	8/28	百年公園運営協働会議
5/10～11	準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座	8/30	岐阜県植物誌調査会
5/15	グループ径(みち)	8/31	ダチョウ組
5/17	岐阜県植物誌調査会	9/ 8	岐阜県高等学校長協会常任理事会
5/18	環境学習プログラム研究会	9/20	岐阜県植物誌調査会
5/24	関市教育委員会子ども文化事業	10/ 9	教育研修課博物館活用講座
6/ 5	教育研修課博物館活用講座	10/18	岐阜県植物誌調査会
6/ 6	岐阜県高等学校教育研究会公民地歴部会	11/ 2	関ボランティア連絡会
6/14	岐阜県植物誌調査会	11/15	岐阜県植物誌調査会
6/15	折り紙研修会	12/20	岐阜県植物誌調査会
6/19	衛生管理者会議	1/26	岐阜県植物誌調査会
7/12	岐阜県植物誌調査会	1/31	岐阜大学教育学部理科教育
7/20	ダチョウ組(ダチョウの骨格標本製作グループ)	2/21	岐阜県植物誌調査会
7/23	美濃・可茂教育事務所初任者研修教育研修課博物館活用講座	2/27	岐阜県小学校社会科研究部会
8/ 6	博物館活用講座	3/ 6	岐阜県博物館協会理事会
8/9～10	準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座	3/21	岐阜県植物誌調査会

<研修室>

4/ 6	ダチョウ組	8/ 3	菖蒲まつり写真コンテスト表彰式
4/17	ダチョウ組	8/ 6	御嵩町教育センター夏期研修講座
5/ 6	ダチョウ組	8/9～10	準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座
5/10～11	準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座	8/14	とうかい文化フォーラム夏季研修
5/17	環境学習プログラム研究会	8/19～20	岐阜県高等学校教育課程研究集会
5/25	岐阜県小学校社会科研究部会	8/21	岐阜県羽島郡教科研図工・美術部会
6/ 6	教育研修課博物館活用講座	8/22	本巣市学校教育研究会夏季研修会
6/ 8	ダチョウ組	8/28	山県市小中学校教職員研修
6/19	衛生管理者会議	11/ 2	関ボランティア連絡会
6/22	岐阜野尻湖友の会総会	11/11	岐阜県百年公園運営協働会議
7/23	美濃・可茂教育事務所初任者研修	2/27	岐阜県小学校社会科研究部会

<ハイビジョンホール>

4/ 5	岐阜県警察学校初任科生研修
5/10～11	準デジタル・アーキビスト資格取得講座
5/29	岐阜県博物館協会総会・講演会
6/19	衛生管理者会議
7/23	美濃・可茂教育事務所初任者研修
8/9～10	準デジタル・アーキビスト資格取得講座
8/19～20	岐阜県高等学校教育課程研究集会
10/25	岐阜県警察学校初任科生研修

〔博物館関係団体〕

1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

公開講座（年3回）、機関紙発行（年3回）、会員研修会（年2回）等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように努力した。

平成21年3月現在、会員館園は132、個人会員は13名

主な役員は次のとおり。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、古川秀昭、高屋一行、榎本徹、田中彰、事務局は岐阜県博物館内にある。

<協会の主な事業>

4/14	協会監査
4/24	第1回理事会
5/29	岐阜県博物館協会通常総会
5/29	第3回県民文化講演会
6/19	機関紙委員会
5/30	第1回地域博物館活性化委員会
7/14	西濃地区地域博物館活性化委員会
7/20	第115回公開講座
7/25	東海地区博物館連絡協議会総会
7/31	機関紙「岐阜の博物館」第157号発行
8/ 9	第116回公開講座
8/28	中濃地区地域博物館活性化委員会
9/19	第2回地域博物館活性化委員会
10/11	第117回公開講座
10/22	東海三県博物館協会研究交流会
～10/23	
10/31	機関紙「岐阜の博物館」第158号発行
11/12	第70回会員研修会
11/22	全国博物館大会
～11/23	
2/ 5	東濃地区地域博物館活性化委員会
2/25	第71回会員研修会
2/25	研修委員会
3/6	第2回理事会
3/31	機関紙「岐阜の博物館」第159号発行

2 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、動物・植物・地学等の自然系や歴史・考古・民俗・美術・工芸等の人文系などに興味、関心を持つ人々の展示観覧、研究、学習の便宜を図っていくという博物館の教育普及と密接な関わりがあり、博物館の事業や活動をサポートしていく会である。

平成20年度の一般会員数は250名、後援会員は12個人・団体である。昨年度比で一般会員は36名の減である。昨年度はその前の年の19年度比で10名減となっており、このところ、年々減少傾向にある。新規に会員になる数よりも継続会員の高年齢化が進み、退会者が増えてきていることによるものである。後援会員は1団体の新規加入があった。一般の多くの方々に「友の会」の存在や活動内容について知ってもらうことが必要である。そのためにも友の会独自のHP等によるPRにも取り組み、また内容豊かな活動にも心がけて推進しているところである。

平成20年度の主な事業、行事は次の通りである。

(1) 会議

春季役員会・総会	5月 9日(金)
秋季役員会	10月23日(木)
臨時会長・副会長会	12月12日(金)
会長・副会長会	3月14日(土)

(2) 各種委員会

会報委員会	4月24日(木)
探訪の旅委員会	5月14日(水)、8月29日(金)
七草委員会	11月11日(火)、1月6日(火)

(3) 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は92号(6月)、93号(10月)、94号(2月)の年3回発行。

各誌A4判6頁で図・写真オールカラー。各350部

(4) 図録の刊行

秋季特別展「骨のあるやつ」で、関連図録を500冊刊行し、特別展期間中に439冊を取り扱った。

(5) 図録の販売

図録の販売は、前年度までの発行図録を従来どおりに館内販売と、外部施設での委託販売が中心である。またインターネットによる本館HP掲載により、図録の問い合わせ注文も増えてきている。

委託による図録販売は、県内では「高山陣屋」、「海津町歴史民俗資料館」、「岐阜県世界淡水魚水族館(アクア・トトぎふ)」、「下呂発温泉博物館」、「レストハウス花兆」、「岐阜県百年公園事務所」、「岐阜県図書館」の7ヶ所と、県外では「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)」、「横浜都市発展記念館」(今年度期間限定)の3ヶ所と委託販売契約を結んでいる。

(6) 博物館との共催事業の実施

①特別行事 「七草がゆを食べよう(1月7日(水))」参加者約160名。今年度は天候にも恵まれ、尾藤関市長も来場試食された。サポーター、ボランティアの協力等もあり、味にこだわった七草粥を参加者に提供でき、好評であった。

②企画展関連事業 「三葉虫を調べよう、化石クリーニング体験(学校の夏期休業中及び毎月4~5回程度)」

③たのしい博物館 「まが玉をつくろう」「化石のレプリカをつくろう」など11種17回

④博物館活用講座 「化石レプリカの作成方法」開催。

(7) 友の会員入館の入館料補助

会員の博物館見学者は、4月1日~3月31日の1年間に、常設館への入館者214名、特別展期間中の人館者41名、合計255名の入館があり、その入館料(団体料金相当)を友の会で助成した。

(8) 探訪の旅

岐阜県博物館友の会では、会員相互の見聞を広め教養を高めるとともに、親睦を図ることを目的に、海外への探訪並びに国内の探訪を実施している。今年度から新たに自然探訪として、児童生徒向けの「福井県立恐竜博物館および化石発掘体験」を企画実施し、好評を得た。

①自然探訪 期日は10月4日(上)に福井県恐竜博物館見学とかつやま恐竜の森での化石発掘体験をした。参加者は40名(小人16名、大人24名)。恐竜等の展示の充実と工夫に感動し、見学時間が短かったという感想もあった。化石発掘体験では植物の化石を発見し持ち帰ることができた。

②国内探訪 期日は10月16日(木)に木曽福島関所と奈良井宿見学の旅を実施した。参加者は33名。木曽福島では福島関所跡の資料館、興禅寺(日本一の石庭、宝物殿など)、周辺の史跡の見学。奈良井宿では国重要伝統建造物保存地区に指定された宿場と上間屋史料館の見学。充実した探訪の旅であった。

③海外探訪 2月22日出発予定の第12回海外探訪の旅「インド・ネパール世界遺産見学8日間」は、11月26日にインド・ムンバイでの同時多発テロが発生したことにより、会長・副会長会議を開き、参加者、ご家族の「安全性・安心感」を最優先すべきとし、中止・延期とした。

(9) 友の会のHPやメールアドレスの開設

今年度、念願の入会案内や友の会刊行の図録の紹介等を中心としたホームページを開設した。また同時に友の会のメールアドレスも設定した。年度途中にプロバイダの都合で下記のように変更となった。今後博物館とのリンクや内容の充実を図っていく予定である。

メール tomonokai@orange.zero.jp

URL <http://orange.zero.jp/tomonokai/>

Ⅲ 利用案内（平成21年度）

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分（入館は16時まで）
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

- 入館料

区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	320(260)円	別途料金	無料
大学生	110(50)円		
小中高生	無料	無料	

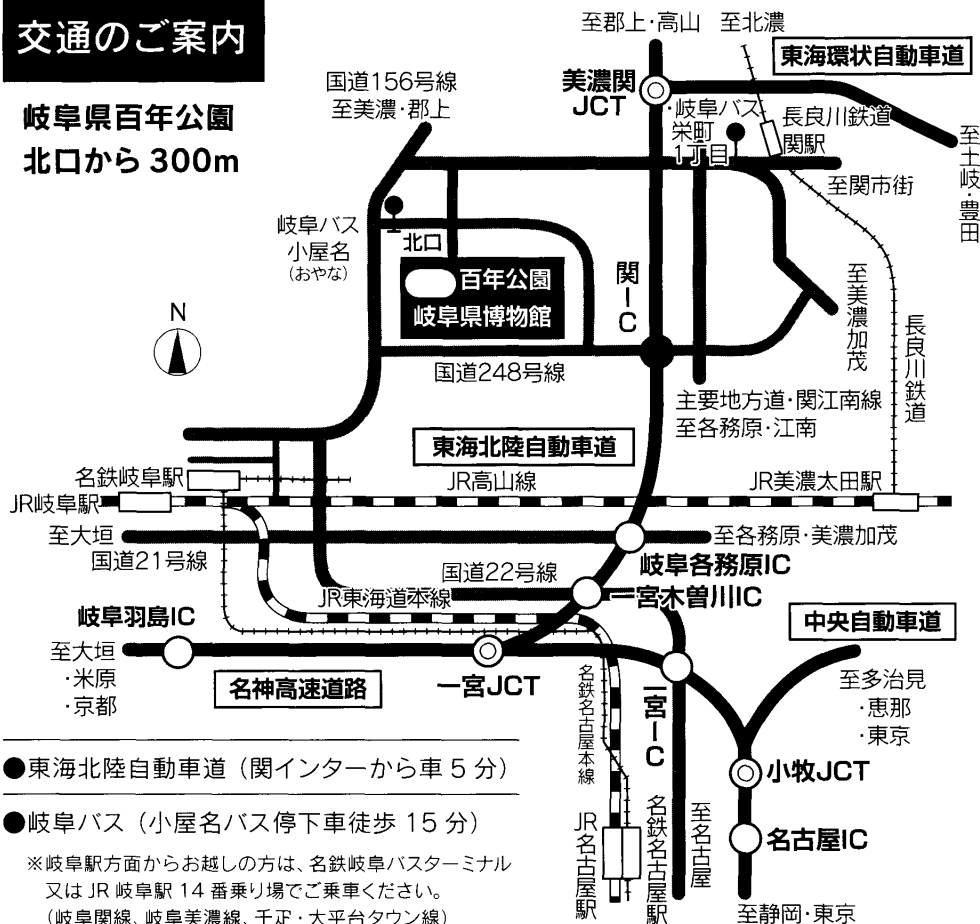
() は20名以上の団体

- 休館日
 - ・月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日）
 - ・年末年始（12月29日～翌年1月3日）
- 駐車場

博物館には駐車場がありませんので、岐阜県百年公園の駐車場をご利用ください。
駐車料金・・・普通（軽）自動車300円、バス820円

交通のご案内

岐阜県百年公園
北口から300m



- 東海北陸自動車道（関インターから車5分）

- 岐阜バス（小屋名バス停下車徒歩15分）

※岐阜駅方面からお越しの方は、名鉄岐阜バスターミナル
又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。
（岐阜関線、岐阜美濃線、千疋・大平台タウン線）

※関駅方面からお越しの方は、関駅下車徒歩5分の
栄町1丁目バス停でご乗車ください。（岐阜関線）

岐阜県博物館へは岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください（有料）。歩行が困難な方は博物館まで車の乗り入れができますので、北口ゲートでお申し出ください。

〒501-3941 岐阜県関市小屋名（岐阜県百年公園内）

TEL 0575-28-3111(代) FAX 0575-28-3110 URL <http://www.museum.pref.gifu.jp>